

意識の流れ あなたに語り掛けましょう

第2巻

意識の流れ あなたに語り掛けましょう

田池留吉

迷いに迷った人生にさよならしませんか。病んで苦しみ続けてきた生活にさよならしませんか。悲しんで悲しんで流してきた涙にさよならしませんか。

次元移行を信じて、一、二、三の励行に喜びを感じていきませんか。私は、私を信じて、共に学びを進めている人を裏切ることはないでしょう。

死なないでください。どうか、苦しい、辛い、寂しいなどといながら死なないでください。一、二、三の励行、そして死を迎える日まで元気で学びを進めてください。どうか、あなたの人生の目的を果たして、ありがとう、私は幸せでした、私の人生は喜びでしたと微笑みながらあなたの肉を置いていってください。

次元移行に向かって来世に繋いでいきましょう。

一、二、三、やっていますか。**一ができて**から二へ進むようにしてください。一ができていない、やりたくない方は、絶対に前へ進めませんよ。少々進めたとしても、到底、田池留吉の世界など分からぬでしよう。勿論、自己供養も渉らないでしよう。結局、時間だけが過ぎていくことになるでしよう。

心の底から、お母さんありがとうと言えない方は、これから何年勉強を続けても、いつかはこの学びから離れていくことになっていくでしょう。特に、病で悩んでいる方は、口先だけありがとうと言っていても、心の底から言えない方がほとんどではないかと思っています。

お母さんの反省をしっかりやっていくようにしてください。
後は、それからです。

下記のものは、第7回UTA会に向けて、みなさんに参考にしていただいたものです。これからも、参考にして、一、二、三の実践を心掛けてください。

意識の流れの学びを進める

I 入門

1. 学びを始めた動機を確認する。
2. 自分の宗教遍歴を振り返る。
3. 本『意識の流れ 増補改訂版』と『続 意識の流れ 改訂版』を繰り返し読む。
4. ホームページ「意識の流れ あなたに語り掛けましょう 田池留吉」を毎日開いて読む。

II 実践・じっくり基本を

1. 母親の反省

母親にしてもらったこと、してもらえたかったこと、し

てあげたことを、ノートに書き出す。

母親に使ってきた心を思い起こす。

2. 0歳の自分に向ける瞑想

母親の温もりを感じる。

3. 田池留吉を思う瞑想

田池留吉に心を向ける、合わせる、委ねる。

田池留吉の世界、温もり、優しさ、大きさ、広がり、パワーを感じる。

III 実践・しっかり応用を

1. 田池留吉のメッセージを受ける。本物かどうか波動を確認をする。

2. 自己供養

自分の闇・過去世を受け入れる。

自分の闇と共に、母親に、田池留吉に心を向ける。

自分の闇が喜びに変わる。

3. 来世との出会いと供養

250年後の自分、300年後・次元移行した自分と出会う。

4. 死後の自分との交信

IV 実践・愛の放射塔

1. 田池留吉と交信・質疑応答する。

2. 意識の転回、更に更に進める。

3. 田池留吉と「私はあなた、あなたは私、一つ」と確信する。

4. U F Oに心を向ける。U F Oと交信する。

5. 宇宙に心を向ける。宇宙と交信する。愛が宇宙に流れる。

6. 一切はエネルギー、愛・温もり、優しさ、喜びだったと悟る。

上記のものは、前回のUTA会でお示ししたものです。その後、着々と進めておられますか。

今回は、次の一、二、三で効果的な学びを進めていきましょう。

私に、あなたの心を向け、合わせ、委ねてください。これは、本来の、自然な姿、状態です。委ねることは、喜び、幸せ、ありがとうございます。委ねることが、私はあなた、あなたは私、一つへの目覚めに繋がっていきます。もちろん、欲と私とは絶対に合いません。

私がお伝えしている世界は、他力の世界とは全く相容れないものです。学びの動機が間違っていれば、この学びは一步も前には進めません。他力の神々を未だに掴んでいる人は、私に委ねることはできません。諸々の苦しみ、悩み、病の原因はここにあると言っても過言ではないかと思っています。

では、今日も、一、二、三でいきましょう。一は、母親の反省・0歳の瞑想・母親の温もり、二は、田池留吉に心を向け・呼ぶ・合わせる・委ねる、三は、自己供養。焦らず、弛まず、真摯に学んでいきましょう。

7月のUTA会は、一、二、三の習得、眞の愛の覚醒と参りましょう。あなたの来世、死後の自分、あなたの闇・過去世、そしてあなたの肉体細胞、みんな一堂に集まって学ぶことにしよう。

肉のあなたは、赤子のような素直な心を忘れないで。きっと、

いいかも。

まもなく第8回UTA会、期して参集しましょう。

**ありがとう、喜び、幸せで。ありがとう、ありがとう、
ありがとうで毎日毎日を。**

一、二、三で。一は、母親を思う・0歳の自分を思う。二は、田池留吉を思う。三は、自己供養をする。そして、田池留吉を思い、信じ、委ねていってください。肉のことよりもこちらを先に、肉は後から整ってきます。信じて進んでいってください。

第9回UTA会（12月18日～20日）に参加予定の方は、0歳の瞑想をしっかりやってください。お母さんの温もりが感じられるように。

なお、次の方は、第1日目、希望されれば必ず前に出ていただいて一緒に勉強をと思っています。

1. 意識の流れ増補改訂版、続意識の流れ改訂版、意識の転回をしっかり読んでいる。
2. セミナー参加回数が9回以下である。
3. セミナーの前日までしっかり0歳の瞑想を続けている。

私の勉強から 塩川香世

瞑想は思うこと。ただ思うこと。心を向けていけばいいだけ。

心の中に本当に喜びが広がっていきます。

瞑想は思うこと。思えば嬉しい。思えば幸せです。思えることが幸せです。

瞑想をするたびに、この思いを感じます。瞑想の感想です。

瞑想をして、私は私と対話しています。私の中の宇宙と対話しています。宇宙を思う瞑想が今できることが、本当に嬉しいです。

この意識の世界、心のままに、私は、これから時間、空間を経ていくのだと思うと、本当にありがとうございます。

瞑想は喜びです。瞑想をして心に感じる喜びは、何よりも、何よりもすごいです。

自然と異語が出てきます。異語は私のリズム。私の波動、エネルギー。心に感じる喜び、それを私は異語で私と対話しています。

宇宙を思うとき、ああ、本当にありがとう、ありがとう、ありがとうございます。そして、そのまま、私は、喜びの中に、心を広げています。

私は、日々の時間の中で、そんな時間をいただけることが、本当に嬉しいのです。中からどんどん波動を感じます。ああ、私は、この波動の中に生きているんだ、そう実感できるのです。

ああ、これが私なんだ、本当に私なんだ、何度も、何度も、いえ何度も確認できる今、私は喜びをかみしめています。

今朝、新聞の東日本大震災の記事などに目を通してから瞑想に入ると、次のようなものが心に響いてきました。

瞑想をしていけば、人を救い、導き、供養するという愚かさ、傲慢さ、そういうものが心に響いてきます。

特に人を供養すること、供養できるという思いがどれほど傲慢な思いなのか、心に響いてきます。

他力の道に走ったこと、他力の世界を開いたこと、神に仕え、仏に仕え、宇宙のパワーを追い求めてきたこと、本当に愚かしいことです。

人を救い、導き、人を供養する、これほど傲慢な思いはありません。

自分がいったいどれほどのエネルギーを、真っ黒なヘドロを垂れ流してきたのか、本当に自分のその様を心で感じたならば、こんなに恐ろしいことはないのです。こんなに傲慢な思いはないのです。

神に仕える者、仏に仕える者と悟ったとされた人達は、己の愚かさを知らずに何億年、何十億年存在し続けてきました。未だに自らを知りません。しかし、意識の世界に、今世、ようやく大きな動きがありました。真実の世界からのメッセージが受け入れられる状態になったのです。

もっとも、まだまだ、他力の心、他力のエネルギーは本当に根深いです。そこに渦巻く欲、欲のエネルギーの勢いは衰えることなく、真実に反逆する思いは燃え盛った状態です。

祈りは、これからも続きます。その愚かな中に、真実を広げていくことは甚だ難しいです。

しかし、意識の流れは、その中に、確実に浸透していく流れです。

だからこそ、宇宙的規模の天変地異を伴い、すべての意識達に警告を発するのです。そんなすごい出来事がもうまもなく、その全容が明らかになってきます。

怒涛のように押し寄せてくる天変地異の嵐。250年という地球時間は、その嵐の中を経ていかなければなりません。

その中で、自分達の間違いに気付き蘇ってくる意識達もあります。そして、その一方で、それでもなお地獄の奥底から抜け出しができない意識達もあります。

どちらにしても、自らが自らを促していくことに変わりはありません。

だから、喜び、喜びであり、ただただありがとうだけしかないのです。

瞑想をして、心に感じ響いてくる喜びのエネルギー、真実の波動をどんどん心で受け付けてください。そして心を開いて、そのエネルギーを流していってください。

私は、瞑想をする時間の中で、本当に喜びと幸せを感じています。

しかし、瞑想が退屈だとか、瞑想をしても何も感じられないとか、つまらない時間を過ごしている人達もいるかもしれません。

そんな人達は、たとえば、**目を軽く閉じ、田池留吉、お母さん**と心の中に何度か呼び、そして、ありがとう、ありがとう、あ

りがとうって自分に向けて言ってください。ありがとうを自分に向けて言うんです。

ありがとう、ありがとう、ありがとう…。

何度か心の中で、いいえ、声に出して言ってみてください。

自分に向けて、自分の肉体細胞に向けて、自分の周りの人達に向けて、そして、もちろん、あなたの中に生きているたくさんの意識達に向けて、ただありがとうの思いを向けてください。

そして、しばらく目を閉じて、そのありがとうの思いを心で味わってください。

どうでしょうか。中からありがとうの思いが上がってきませんか。

今は、心の中へ、あるいは声を出して、ありがとうと意識的に向けたかもしれません。しかし、そうしているうちに、心の中から、ありがとうが返ってきませんか。ありがとうの思いが返ってきませんか。どこからともなく、いいえ、心の底の底からありがとうの思いが湧いてきませんか。

涙が溢れてくるかもしれません。

そして、何にありがとうと言っているのか、言ってくれているのか分からぬかもしれません。それでもありがとうの思いが湧いてきたとき、心の中はどうでしょうか。嬉しい、嬉しいってなってきませんか。

宇宙に向ける瞑想なんてどうするのという人達も、そんな瞑想を試みてはいかがでしょうか。

瞑想をする時間は、喜び、幸せの時間です。

一日のうちに使ってきた心、出してきた思い、流してきたエネルギーをふっと振り返り、それらがどんなに凄まじいものであっても、一日の終わりに瞑想をして、そうして、一日を終えていけば、安らかな眠りについていけるのではないか。どうか。

今日も一日ありがとう。私は私に向ければ、本当に嬉しい、喜びの私を感じます。幸せな私とともにあることがただただ嬉しいのです。

後1週間足らずでUTA会、みなさんと一堂に集まって共に学びを進めていけると思えば大変嬉しい気持ちになります。ありがとうございますで始まり、ありがとうございますで終わっていくUTA会、大いに楽しみにしています。

今回は、一、二、三で進めていきますが、**何よりも自己供養に重点**をおいていきたいと思っています。参加予定のみなさん方も、そのつもりで、効果的な学びができるように準備をしておいてください。

自己供養を進めていない方は、何もこの学びが分かっていないといつても過言ではないでしょう。どうぞ、真剣に学びを進めていきましょう。

瞑想をすればするほど、瞑想はとても大事だと分かってきます。いいえ、瞑想しかないことが分かってきます。

また、瞑想を深めていけば、正しい瞑想ができなければ、本当

のところは何も分かっていないことになるということも、分かつてきます。意識の世界の厳しさを感じます。

肉を離しても、私は心の針が田池留吉の世界に向けられる、合わせられる、そう確信できていますか。今現在そのような状態でしょうか。

どなたもご自分に聞いてみてください。

そして、自分の中から出てくる答えを参考にして、これから自分の学びを淡々と、ひたすらやっていきましょう。

田池留吉の世界に心を向ける、合わせる、全託するというのは、肉ですることではありません。肉でできることでもありません。

当然のことながら、これから向けよう、合わせようということではなく、もうすでに向いているか、向いていないか、合っているか、合っていないかのどちらかです。それが意識の世界です。

もちろん、最初は、どなたも肉で向けよう、合わせようと努力するでしょうが、学びを深めていけば、そんなことを特に思わなくとも、意識は向いていると確信できます。それが、軽く目を閉じて瞑想状態になったとき、自分で確認できるのです。だから、自然に瞑想をする時間を持ちたくなります。確認、確認が嬉しいのです。

心を向けられる喜び、合わせられる喜び、そして全託できる喜び。

田池留吉の肉があってもなくても、私の肉があってもなくても、全く変わらずの状態であるように、学びを自分の中で進めています。

250年という時間を十二分に視野に入れて、今、肉を持っている今、瞑想をする時間を大切に、私は私の道を歩み続けています。

瞑想ができる喜びを喜びながら、私は私に用意した時間を楽しんでいます。

来る7月10日のセミナー会場に意識を向けてみました。

私は、あのセミナー会場で、心を宇宙に向けて、あの時間と空間の中で、喜び、喜びを感じ合っています。私は宇宙を呼び、瞑想を続けています。セミナー会場から、宇宙へ喜びを発信する愛のエネルギーが流れしていく様を、今、本当に心に感じます。

ああ、セミナー会場を思うと嬉しいです。私は、本当に嬉しいです。

自己供養を重点的に行うということです。皆さん、宇宙を心の中に呼んで、セミナー会場にその肉を運んでください。

心は宇宙です。宇宙へ思いを向け、それぞれの心の中に培ってきた他力のエネルギーをしっかりと見つめてまいりましょう。

自己供養は喜びです。自己供養は喜びでしかありません。

自分を自分で包んでいくエネルギーを心に感じていけるんです。今、本当に、喜び、喜びのエネルギーがセミナー会場を包んでいます。

すべての意識達とともに、喜びを感じえることを、今、私は心で感じています。ありがとうございます。ただただ、心の中に広がっていく喜びのエネルギー。私はとても嬉しいです。

セミナー会場で、喜びのエネルギーとともに喜び合えることを、今、心に感じています。宇宙へ、宇宙へ心を向けながら、私はと

もに、ともに喜んで、喜んでセミナーに参加させていただきます。

自己供養は喜びです。自分を自分で包んでいく喜びのエネルギーが心に満ち溢れていく、そんな喜びを、今、心に感じています。

瞑想、瞑想、瞑想、毎日、毎日続けていきましょう。取りあえず、瞑想が楽しくなるまで続けましょう。

先ず、母親の温もりを、そして、自分の温もりを信じて自己供養（闇出し、受け入れ包む、喜び）を。

自己供養は、転生を経て、次元移行を果たすまで続きます。自己供養は自分と出会い、自分を知っていく効果的な作業と言えるでしょう。自分を知らずして次元移行はできません。よろしいですか。

塩川香世さん、あなたは母の温もりを心に感じていますか。母の温もりを心に広げていますか。

はい、私の中には母の安らぎ、母の温もりが広がっています。私はその中にいます。私は母の温もりの中にいます。母の温もりを心にしっかりと感じています。

今世の肉を通し、田池留吉、アルバートの肉を通し、その波動の世界を心に感じさせていただきました。母の温もりを心に蘇らせました。だから、私はただひたすら、この道を真っ直ぐに行くだけです。

私の中に母が生きています。母が生きているんです。私の中に生きていました。蘇ってきた私の中に、母の温もりが蘇ってきたんです。

その喜びが心にあります。ああ、だから、私は心を向けていくべきほど、静かな、静かな喜びの世界が広がっていくんです。それは、母なる宇宙に続いています。母なる宇宙、母の温もり、ああ、私でした。それが私でした。

母は思い出させてくれました。母の温もりの中に帰っておいで、私に呼びかけてくれました。それがあなたですよと、母が呼びかけてくれたことを、私は自分の中に蘇らせたのです。

母の温もりこそすべてでした。母の温もりが、今、心にあるからこそ、私は、このように喜び、幸せの自分を感じることができます。田池留吉、アルバートに心を向け、合わせ、委ねる喜びを感じることができます。ああ、私は私を蘇らせました。はい、そのように感じさせていただいています。

田池留吉です。では、その母の温もり、あなたが感じている母なる宇宙へ心を向け、私に語ってみてください。私の波動を受けて、あなたの心で感じるままを、その喜びを感じていってください。

田池留吉、お母さん。心を向けたとき、私の中が広がっていくのが分かります。心が広がっていきます。穏やかに、穏やかに広がっていきます。静かな、静かな中に私がいます。私は喜びです。私の中に、田池留吉の波動、アルバートの世界を、今、心で感じています。

私はこの波動の中で自分の宇宙を見てきました。自分の宇宙を思ってきました。どんどん思えば思うほど、どんどん心が広がっていくのを感じてきました。

「さらに、さらに心を広げていきなさい。」

そのようなメッセージがきます。

田池留吉です。はい、どうでしょうか。今、あなたの思いを語ってみてください。

はい、田池留吉、ありがとうございます。はい、心の中にすごいエネルギーを感じました。そして、そのエネルギーは、どんどんどんどん広がっていくのです。温かな柔らかな中に、私は、私は、この中に広がっていくのが分かります。それがとても嬉しいです。

一つになって、広がっていくのを感じます。一つなんです。一つなんです。心の中に喜びが広がってまいります。ありがとうございます、ありがとうございますの思いしかありません。今、私は田池留吉の喜びの世界を心に感じています。その波動を心に感じています。私達は一つを感じています。

ありがとうございます。私はこのように、瞑想ができる。嬉しいです。心が広がっていく。温かな、温かな中に、優しい、優しい、限りない優しさが広がっていきます。私は幸せです。ありがとうございます。

自宅でしっかりときちんと学習して、私はセミナーに臨んで

います。はい、セミナー会場で喜びの波動、喜びのエネルギーを、自分の中にしっかりと感じ、私はまた自宅で学び、そしてまたセミナー会場へと、その繰り返しをしてきました。

自宅でしっかりと学ぶからこそ、セミナー会場でもきちんと学ぶことができるのです。

私は自分を学ぶために、この肉を持ってきました。

心、意識、自分の意識の世界、自分の宇宙を学ぶために、今、肉を持っていることは、はっきりと自覚しています。

自分を知り、自分とともににあることが嬉しい。だから、瞑想がとても嬉しいです。自宅でも、しっかりと瞑想ができる今がとても嬉しいです。

瞑想が嬉しい。瞑想は喜び。心からそのように感じます。

はい、心に感じたままを私は心に広げていきます。心の中に喜びが広がっていきます。アルバート、アルバートと呼ぶ思いが心に広がっていきます。はい、250年、300年の間、私は、アルバート、アルバートと呼んでいます。田池留吉、アルバートと呼んでいます。ともに、ともに宇宙とともに存在していける時間と空間を、今、心に感じられることが、とても、とても嬉しいです。

次元移行を果たした後の私を心に感じます。

次元移行を果たした後の心の世界へ、心を向けられる今、とても嬉しいです。ありがとうございます。

私達は250年、300年と言いますが、私達にとっては、今が、250年後、300年後です。250年後、300年後が今

です。一つ。一つの中にあります。その喜びを心に感じています。次元移行を果たした後の私を心に感じ、私は本当に、今、今、肉を持っている今、本当に嬉しいです。

ありがとうございます。本当に嬉しいです。

私は今、この肉を持っている間、もちろん学び続けます。そして、肉を離した後も、もちろん学んでいきます。継続していけることが喜びです。私はその時間と空間の中に、今、自分がいることを感じます。だから本当に嬉しいです。

田池留吉、アルバートに心を向けられること、それだけが本当に嬉しいです。田池留吉、アルバートと語り合えることが本当に嬉しいです。この波動の中でともにあることを感じて喜びです。

田池留吉です。はい、あなたはどんどんどんどん自分の中で瞑想をしていくんです。今はもうただ瞑想をする時間を持っていけばいいんです。それだけでいいんです。そうすれば、自ずと色々なことが分かってきます。

私、田池留吉の世界、その波動の素晴らしさ、アルバートの波動、その喜びは、瞑想を重ねていけば、どんどん広く深くなっています。

瞑想の中で感じる喜びと幸せは、何とも言えない、これがあなたの今の率直な感想だと思います。

そうです。それはすべてあなたのものです。あなたの心で感じている世界はあなたのもの。その喜びの波動、エネルギーを遮ることなく流し続けていくこと、それが真の愛の覚醒です。

真の愛に覚醒したから、宇宙はどんどん変わっていきます。宇

宇宙的規模の天変地異は必然的に起こってきます。

第7回UTA会、すごいセミナー、よかったです、ありがとうのセミナーでしたと、今日現在、沢山の方から喜びが伝わってきます。本当にありがとうございます。嬉しいです。

感激、感動、喜びが、更に膨らんで大きくなっていくように、第8回のUTA会に向けて、一、二、三を、素直・ハイ・喜びで実践していきましょう。きっと、もっとすごいセミナーになるでしょう。一段も、二段も、みんな揃って進化していきましょう。大いに期待できるセミナー、今から大変楽しみにしています。

私は神なりの思いに心を向ける瞑想したとき、私の中から私は神なりの思いは上がってきませんでした。

私は、私は神なりの思いを自分の中でしっかりと見つめてきたと思っています。私は他力の神々を握っていないことを、自分の中に確信していますが、どうでしょうか。セミナーハウスで、私は神なりと瞑想したとき、私は喜びですと語っていました。田池留吉、アルバートに聞いてみます。

田池留吉です。私は神なりの思いがあなたの中に上がってこないことは確かです。私は神なりとは本当にすごいエネルギーなんです。しかし、あなたは、私は神なりのエネルギーを、すでに喜びのエネルギーに変えています。あなたのの中に、喜びの思いが広

がっています。

私は神なりの神とは、とても小さな、小さな世界です。自分は、そんなちっぽけな世界ではないことをあなたの心がよく知っているのです。あなた自身をあなたは感じているからです。

私は神なりの世界はとても小さな、小さな、ちっぽけな、ちっぽけな世界です。

そんな世界と自分の世界は比べるに値しないことを、あなたは心で感じています。

だから私は神なりの思いに心を向けたとき、あなたは微動だにしなかったはずです。

あなたの内で、私は神なりの思いが増幅することはありません。

私は神なりと心を向けたとき、「私は喜びです。私は、田池留吉、アルバートと一つです。一つ。ともに歩いていく意識です。喜び、温もり、それが私なんです」という思いが広がっていくはずです。

今、あなたはその喜びの中にある、いいえ、自分自身が喜びですと確信しているからこそ、自己供養を本当にすぐさまできるんです。

肉を通し、色々なことを感じても、ふつと思いを向ければ、あなたの内のエネルギーをすぐさま、喜びへと転化できるのです。それがあなたの中で簡単にできるはずです。だから、瞑想すれば、ただただ喜びです。

そして、これからは、瞑想と特別に思わなくとも、ふつと思いを向けたとき、一瞬のうちに喜びへと変わっていく体験をしてください。それが瞑想ということでしょう。

日常生活の中で、さりげなくふつと思いを向けたとき、あなた

の中に喜びが湧き起こってきます。そして、私、田池留吉の存在を心の中にしっかりと感じていくはずです。

あなたの意識の世界はそのような状態になっています。どうぞ、しっかりと心を向けて、喜び、喜びで日々の生活を淡々と送っていってください。

これから、20年から30年ほど、喜びで学んでいく自分を思います。自分のこれからの時間が心に浮かんできます。私は喜びで、喜びでこの自分の世界を学んでいけます。田池留吉、アルバート、真実の波動の世界を学んでいける。その喜びの時間を心に感じています。

目を閉じて心を向ける喜び、つまり瞑想をする喜び。私の中にその喜びがどんどんどんどん膨らんでいくからの20年、30年です。

私はこの喜びの中で、田池留吉、アルバートを呼び続けます。そして、この肉がなくなった後も、呼び続けられることを感じています。

私の学びは、ずっと、ずっとこれからも永遠に続いていきます。留まることなく、さ迷うことなく、淀むことなく、次元移行をした後も、喜び、喜びで存在し学んでいけるのです。

もちろん、250年、300年の間、喜びで存在していける私を感じています。

私の中のブラックは喜びへと転化していく術を心得ました。

だから、私はU F Oを呼びます。U F Oに心を向けられる喜び。U F Oは私の仲間です。U F Oとともに存在していくこれから的时间。U F Oに心を向けられる喜びを、今、心に感じています。

瞑想をすれば、異語で喜びを伝え合っています。

「喜んで、喜んで歩いてまいりましょう。喜びで、喜びで、次元を超えてまいりましょう。」

私はこの喜びのエネルギーをともに、ともに味わっていけることを感じています。私は喜びで、この喜びを伝えてまいります。U F O達へ喜びを伝えていけることが私の喜びです。

私の過去世、すべてが喜びへと転化していきます。

はい、喜び、喜びでした。私の中は喜びでした。

ブラックのエネルギーが喜びへと変わる。そのとき、すごいエネルギーを発していきます。

それが天変地異となって流れていきます。

私達の心の中から天変地異のエネルギーが流れていきます。そのように申し上げても言い過ぎではないと思います。

これから、様々な天変地異がこの日本はもちろん、世界各地で起こってきます。喜びが、大きなエネルギーとなって、この地球上に天変地異を起こしていくことを、私は心で感じています。

先日のセミナーでは、皆さん一斉に田池留吉のメッセージを受ける試みがありました。私には天変地異のことを伝えてくれっていました。**愚かな人類に伝える術は天変地異しかない**ことを伝えてくれていました。

宇宙を思う瞑想が自己供養です。今日の瞑想の中でのメッセージです。

宇宙へ思いを向ける瞑想、それがあなたの自己供養です。

そのように伝わってきます。

宇宙へ向けて思いをどんどん解き放していくこと、そうすれば、宇宙大に心が広がっていきます。

宇宙の中に存在しているあなた自身をどんどん見つめていく、それは大きな、大きな自己供養です。

肉を持ってきた時間、持たない時間、すべてを総括してあなたは自己供養を進めていってください。

宇宙を思ってください。宇宙を思い瞑想をする中で喜びをどんどん感じていってください。

宇宙を思えることが喜びです。あなたの心にそう語ってきますね。

そう、宇宙へどんどん思いを向けていくこと、それがあなたの自己供養です。宇宙へどんどんどんどん喜びのエネルギーを流していってください。心を田池留吉、アルバートに合わせ、宇宙を呼んでいくんです。

田池留吉、私は宇宙を思うたびに喜びが大きくなっています。

以前の私は宇宙を思うことが恐怖でした。狂いに狂ってきた宇宙を思うことなど、本当に恐怖でした。

今は違います。宇宙と思えば、ただただ喜びが広がっていきます。温もりが広がっていきます。幸せなんです。この中に私があ

ったことが感じられるからです。すべての宇宙達とともに私はこの喜びを伝え合っていきます。

田池留吉、アルバート、ありがとうございます。

母なる宇宙へ思いを向けていったとき、私の心の中に広がり、限りない広がりを感じます。自己供養の喜びがますます大きく感じられます。

宇宙を思う瞑想を続けてまいります。

今という時を心からありがとうございます。私の中は本当に喜んでいます。

今、この肉体がなければ、こんな温もりと喜びには巡り合えなかつた、一斉にアルバートと呼ぶ私の中です。

ゆったりと静かに自分と向かい合える今という時間と空間に感謝、感謝です。

瞑想は喜びです。私は思うだけでもう心が広がっていきます。どんどん私の中から温もりが湧いて出てくるのが分かります。目を閉じて思えば、もう幸せなんです。だから、瞑想をすることが幸せなんです。

アルバート、アルバート、アルバート。アルバート、アルバート、アルバート。アルバートと呼べることが幸せなんです。

田池留吉の肉を通して、田池留吉の世界、アルバートの世界、真実の波動の世界を心に蘇らせたことが本当に嬉しいです。

この肉を持っている間はもちろんのこと、自分のこれから的时间を考えば、私はただただ喜びです。

私は、ただ淡々と瞑想を重ね、淡々と生活をしていけば、もう

それだけでいいということを知っています。

真実の波動の世界を心に蘇らせた、そして、その世界をどんどん進んでいける、こんな幸せなことはありません。

心を向ければ、温もりが響いてくる世界です。心を向ければ、ありがとうございますが返ってくる世界です。そんな中に私はありました。

そのことを日々の瞑想で感じています。

私は学びに集えて本当によかったです。もちろん、私が今のような状態になるのも、250年後の私の状態もみんな、みんな、予定通りのことです。すべては意識の流れの中で計画通りに事は遂行されています。

そう心で分かっていても、本当に今という時を迎えるまで長かったね、しかし、本当に本当だったね、ありがとうございますと私は私に伝えています。心からありがとうございます、私は私に伝えています。

瞑想をすれば異語が自然と出できます。ふと、そんな私に言いました。

今あなたが思っていることを、どうぞ、日本語で語ってみてください。

私は、田池留吉、アルバートを思い瞑想をしています。心の中に宇宙が飛び出ます。宇宙に思いを向ける瞑想を続けています。その瞑想の中で私は心の中に、とても大きな喜びを感じるんです。私の中に、大きな、大きな広がりを感じます。とめどもな

く広がっていく中に、温もりと安らぎがありました。私の中から限りなく出てくる温もりと安らぎ。この世界に私はあったことを、今、心に感じます。

何度も、何度も、瞑想を繰り返し、繰り返し続けています。

私は、そのたびに自分の中を見つめています。

どんなにこの時を待っていたか。本当に心の中に蘇ってくるのは、私自身の喜びでした。私は温もりです。この温もりの中に私がいました。この温もりがあったからこそ、私は、これまでずっと存在し続けてこれたのです。

温もりが私を生かし続けてきました。どんな時も、この温もりが私を包んでくれていました。温もりが私、私は温もり。温もりの中に喜びを感じています。喜びはどんどんどんどん広がっていきます。この宇宙の中へ喜びが広がっていきます。

アルバートと思う喜び、喜び、喜びです。アルバート、心からアルバートと呼びます。

はい、これから250年に至る時間、私は田池留吉、アルバートを呼び続けます。心の中に喜びが広がっていきます。宇宙へ帰れる喜びが広がっていきます。

瞑想は喜びです。瞑想で自分の心の世界をつぶさに感じることができます。

喜びが、温もりが待ち続けてくれていた。私が私を待ち続けてくれていた。その喜びと幸せを私は、瞑想をするたびに感じます。

だから瞑想は喜びです。

いつも、いつも流れている田池留吉、アルバートのメッセージ。私は波動として心に受けています。一つを伝えてくれています。

一つを伝える喜びを感じています。心の中に喜びを感じています。

田池留吉もアルバートも波動です。波動を心に感じ、私は幸せです。本当に幸せです。この中で、私は、250年という時間を持つていきます。

今とは全く違う肉と環境だけど、私の中は、今も250年後もこの喜びを共有できるんです。今が250年後だから。250年後が今だから。

本当に、瞑想は喜びです。瞑想がすべてです。

私は、今、瞑想をする時間、ゆったりとした静かな時間を自分に持てる環境にあります。

それが最高に幸せです。最高のプレゼントです。

私の肉体細胞は活性化されています。どんどん肉体細胞に思いを向けています。肉体細胞の喜びを感じながら、私は瞑想を続けています。

肉体細胞とともに、私は宇宙に思いを向け、この心の中から喜びのエネルギーを流し続けています。

宇宙と思うだけでいいんです。宇宙と思い、宇宙を呼び、それだけでもう喜びのエネルギーが噴射していることを、今、肉を持ちながら感じさせていただいている。

それが私の瞑想をする醍醐味です。ともに宇宙へ帰ろう、母なる宇宙へ帰ろう、たくさんのUFO達とともに、今存在していることを感じられる。嬉しいです。本当に嬉しいです。

肉体細胞をこうしていただき、その肉体細胞とともにこのよう

に仕事ができる喜びを心に感じます。

肉の生活は淡々と、平々凡々でいい。心の針さえきちんと合つてさえいれば、平々凡々ながらも楽しい毎日です。

瞑想をして波動を感じる。こんな幸せな人生はありません。心の中に伝わってくる波動の世界、繰り返し感じられるからすごいとしか言えません。本当にすごい世界が自分の中にありました。もちろん、すごい世界とは素晴らしい世界だということは、言うまでもありません。

その素晴らしい世界を感じるのに、何も要らず、ただ目を閉じるだけでいいのだから、意識の世界は便利です。

塩川香世さん、あなたの心の支えは何ですか。

私の心の支えは私自身です。私の心が私の支えです。私のこの心がぐらぐらしていたり、しっかりしていなかったり、ふらふらしていたり、目標が定まっていなかったりでは、私の心はありません。私いません。

私の心の支えは私自身です。私自身が何を思い、どこに心を向けているか、心の針の向け先がどうであるか、その向けた先がどんな世界であるか、自分の心の中ではっきりと感じ知っているからこそ、私の心がしっかりと自分を支えています。

そして、その心の支えがあるからこそ、私は幸せなんです。私は、今しっかりと喜びを感じています。

心の中に思いを向ける喜びです。心の針を中に向けると、私の

中が語ってきます。私は本当に幸せなんです。自分自身、本当に長い、長い間、探し求めてきた自分と出会っているからです。

こんな幸せはありません。私はこの自分をしっかりと今、心に抱え、そして、その自分をしっかりと見つめていける、今のこの時間と空間なんです。

この肉体を持っている今、自分を見つめています。そして、肉を離した後も自分を見つめています。私はその道筋を心の中にはっきりと示しています。

だから、私は幸せです。私の心の支えは私自身です。私は私と思う時、本当に嬉しいです。

お母さん、田池留吉、アルバート、そう自然と心の中から出てきます。

お母さんも、田池留吉も、アルバートも、私自身です。私の心の支えは私自身です。

お母さん、私には、今、肉体があります。見える目があって、聞こえる耳があって、感じる肌があって、これ以上に私の心の中を感じていける絶好のものはありません。それを、今、私はこうして備えています。

そして、私は、学びに集い、自分を学ぶ手順を学びました。

今は、自分の中で、その実践を繰り返しています。そうした時、私は、本当にこれ以上のものは何もなくて、もうすべてが整えられていることを感じます。

私は、自分を学ぶために、すべてが整えられていることを感じ

ます。

瞑想をするたびに、喜びが湧き起こってきます。今、この肉体がって、感じる心がって、喜びに反応し合う心がって、そんな時間と空間があります。過去に、こんな幸せな肉の人生はありませんでした。

私は望みを全て叶えてきました。本当に叶えてきました。自分の思い通りの人生を歩いています。喜びが私を包んでくれます。温もりが私を包んでくれます。温もりが私だと伝えてくれます。

この温もりの中にある私自身をしっかりと見つめていけば、どんなに幸せな私であったか、心に響いてきます。

年に望むものはありません。250年後の肉の時間を思う時、本当に幸せです。本当に幸せでした。

お母さん、ありがとう。

私は250年後の肉を限りなく愛しく思います。250年後の肉が宇宙を呼んでいます。宇宙へ喜びを、ともに歩いていこうと伝え続けています。そんな私を、今この肉を持っている今、心に感じているから、私は、私のすべてが今に一つが響いてきて、それがたまらなく嬉しいのです。

田池留吉です。私はもうまもなく肉をこの世から消しますが、あなたのその肉は、まだしばらくこの世に留まります。

その間、色々な事が起きます。特に天変地異という形で、日本列島、本当に色々な事が起き、世界各地でも色々な事が起きます。気象、事件、事故、まさにこれから250年に至る時間の

一端を少し示すような出来事が起こってきます。

学びに集っている人達も、自分の心の中で学びをしっかりと進めていかなければ、その現象にたちまちのうちに飲み込まれ、自分の心の向け先があやふやなものとなっていきます。

肉を持っている今世ですらそうなんです。転生を繰り返していくうちに、心の中はどんな状態になるのか。

死後の自分を感じてくださいという学びでも、その一端を感じられた人もいるし、そうでない人、まだまだの人もいます。

その中において、あなたはあなたの学びを進めていってください。

あなたの目で耳で、見て聞いて、色々なところから入ってくる情報を横に置きながら、あなたはしっかりと瞑想を続けてください。瞑想を続けるということは、心の針を田池留吉、アルバートに合わせ、あなたのなかから語ってくる私を受けていくということです。その波動を受けていくということです。

あなたの心の中の準備は、もうそのように整っています。

私の肉がある間、どんどん瞑想を続けて、その準備をさらに極めていってください。

そうすれば、何があっても、何が起こっても、ふつと思いを向ければ、ぶわっと広がる喜び、温もりの世界を心が受けていくはずです。

地獄に起こっている出来事を通し、あなたの中に響いている次元移行へのメッセージ。そのメッセージをあなたのなかから、どうぞ、形にして表していってください。それが、あなたが今世の肉を持ってする最終の仕事になるかと思います。

私の心の支えは私自身だと言った私について、もう少し語ってみてください。

私は、田池留吉、アルバートの世界を心に感じ信じています。それが私の世界だと心に感じ信じています。

心を向ければ、私の中にその喜びが広がっていくんです。どこまでも広がっていく、温もりが広がっていく、そんな世界が私だと私は信じていますし、それが私だと確信しています。

その私自身を私は心の支えにしています。

肉の私は愚かです。肉の私は愚劣です。肉の私は下等です。

しかし、私はこの肉体細胞とともににあることが喜びなんです。肉体細胞が私に語ってくれるからです。

「本当に嬉しいですね。喜びですね。私達は喜びです。心をどんどんどんどん、田池留吉、アルバートに向いていきましょう。」

そのように私に語ってくれるんです。

肉体細胞に思いを向ければ喜びだという。そして、私のこの肉は愚劣だという。両者は一見矛盾しているようですが、肉体細胞は意識。肉は肉。何ら矛盾はありません。

肉は愚劣。しかし、私は、私の心の中は喜びです。

それは、本当の私、温もりの私、喜びの私、次元移行を果たした私が今、今、ここにあるからです。

アルバートを待ち続けてきた私の心の中に、ただただその喜びだけが広がっていきます。その私を私は心の支えとして存在して

います。

これから時間、もちろん、肉を持っている時も持っていない時も、次元移行を果たした後も、私は私を心の支えとして存在していきます。

それを私は私に語っています。

本当に長かったです。私が私に目覚める、本当の私の存在を知ることに長い、長い時を要しました。それだけに、今という時を迎えたことが、何とも言えないです。

地獄の奥底から抜け出し、ようやく本来あるべき自分の姿を見出し、自分の歩く道がすうっと開けています。瞑想の中で感じる喜びに、ただただ私にありがとうございます。

地獄の奥底にあった自分を救い出した今世、大きな仕事を成し遂げたという思いがあります。瞑想をすれば、その喜びを感じられます。

私は自分に思いを向けるとき、ただただ温もりの中に広がっていきます。喜びが心の底の底からどんどんどんどん湧いて出てくるのが感じられます。

地獄の自分をようやく明るい世界へいざなうことができた今世の大きな仕事。私の中で順調に渉ってきます。

ああ、思えることが幸せです。思うだけで喜びです。私が私を思えることが喜びです。

お母さん、ありがとう。お母さん、ありがとう。

たくさんの、たくさんのUFO達に思いを伝えています。心の中から喜びが湧いてきます。UFOへ伝える思い。ああ、この喜びを伝えています。たくさんのUFO達が飛来してくるこれから的时间。私はこの喜びを伝えています。はい、あなた達とともに次元を超えて喜びを伝えています。

はい、あなた達の中に温もりがあるんです。喜びがあるんです。お母さんの思いがあります。ともに、ともに帰りましょう。UFO達へ伝えます。私達は喜びで、喜びで存在しています。遙か彼方よりあなた達との出会いを待ち続けてきました。

私は、このように肉を持つ次元で、私を見つめてきました。

そして、大きな、大きな転換期を迎えました。私の心の中に大きな、大きな喜びの時を迎えたことを、UFO達に伝えます。

UFO達に思いを伝えることが私の喜びです。ともに、ともに歩いていける。ともに、ともに喜びを伝え合っていける。私の心の中で、今、メッセージを送ります。UFO達に喜びの思いを伝えています。

母を思う瞑想の中で、喜びと温もりの波動を感じた私の心の中から、喜びのエネルギーをあなた達に伝えます。

UFO達も喜びのエネルギーを流し続けてください。苦しかった暗黒の世界。そのブラックのエネルギーも、喜びのエネルギーで包んでいってください。

私達とともに自分を見つめてまいりましょう。私は、田池留吉、アルバートの世界を心に感じています。UFO達の心の中にもその思いがあります。私はその喜びの思いをただただ伝えたい。

あなた達の中にどんどん広げていってください。私達は喜びです。
私達は温もりです。私はあなた達U F Oに伝えます。

宇宙へ思いを向ける瞑想を続けています。U F O達に思いを向けています。

田池留吉の目は何を語ってくれますか。

私は田池留吉です。はい、私の目を真っ直ぐに見つめてください。私はあなたに伝えます。この喜びと温もりを伝えます。静かに、静かに広がっていく世界。その世界をあなたに伝えます。田池留吉の世界をあなたの心の中に広げていける喜びを伝えています。田池留吉の世界、あなたの中でどんどんどんどん変わってくるでしょう。大きく広く深くなっていくでしょう。私は田池留吉です。私の思いを、どうぞ、受けていってください。私は波動として、あなたの中に存在しています。

私を呼べば即座に応えます。あなたの心の中で私はいつも、いつも語っていると伝えています。

この波動の喜び、力強さ。波動として私をとらえていけるあなたの喜びを心に広げていってください。を感じるのに何も要らないでしょう。目を閉じて私の目を見て、あなたの心の針を私に合わせていけば、あなたの心からどんどん私が流れていきます。アルバートの波動が流れていきます。心が広がっていきます。心の中に何を感じますか。

はい、私は喜びです。私は喜びです。このように存在していることが喜びです。ともに存在していることが喜びです。喜びしかありません。喜んで、喜んでいったらいいのです。私はあなたに喜びと温もりと幸せを、限りない広さの喜びを、この波動を伝えています。

愛。優しい、優しい愛の中にあなたは存在しています。あなたは愛。私も愛。すべてが愛。すべてが喜び。

田池留吉、セミナー会場のトントントンツーツツーのあのリズムは何を意味していますか。

私は田池留吉です。私は伝えています。あのリズムを伝えています。

宇宙を伝えています。宇宙のリズムを伝えています。私達のふるさと、母なる宇宙の波動を伝えています。トントントンツーツツーの喜びのリズムをあなたの心の中に感じ、「私は幸せです。私は喜びです」。あなたの心の中からそのように語ってくる喜びのエネルギーを私はともに感じています。

あのリズム、トントントンツーツツーのリズム。はい、あなたの内で際限なく流れています。あなたはそのリズムの中にあります。あなたのリズム。あなたの波動。私のリズム。私の波動。宇宙のエネルギー。宇宙からのメッセージ。宇宙からの波動を伝えています。

私の喜びを伝えています。私達は波動。私達はエネルギー。宇宙が私達です。

瞑想でしか真実は分からない。自分の心でしか真実は分からない。真実の世界は、波動の世界は、心で感じていくもの。その心で感じたものは、自分のもの。

瞑想をする醍醐味を私は日々感じています。瞑想が変わったこと、それは本当につぶさに分かります。

自分を本当に愛しく思える。自分を思えば心から温もりが湧いてくる。喜びがどんどん湧いて出てくる。まさに、田池留吉、アルバートとともにある喜びを私の心は真っ直ぐに伝えてくれます。

喜びを幸せを感じるのに、本当に何も必要としないことを日々、強く、強く感じます。私は、自分をひたすら感じていくことに、例えようもない喜びを感じています。

今、こうして肉という形を持たせていただいていることに、ただただ感謝です。瞑想が私にとって、こんなに素晴らしいものとは思いもしませんでした。

私は自分の学びを積み重ねてきました。学んできましたという実感があります。長く鈍感だった私には、今の自分が心で感じているものが、本当に信じられないほどに素晴らしいものです。今、その成果というかそういうものが、本当に自分の心を満たしています。

自分を汚しに汚してきたけれど、こうして、自分を蘇らせる予行練習の時を用意し、250年後の準備をさせていただることに対して、本当に、ありがとうございましたという思いだけです。

肉を持って、愚劣な世界を感じ、そして、肉を持って、本当の喜びと幸せな世界を感じる。すべての私とともに次元を超えていける作業を進めていることに、私はただただ喜びです。

繰り返し、繰り返し、何度も何度も感じられるから間違いはない。何度も、何度も確かめています。嬉しいから何度も、何度も瞑想をします。そして感じます。ああ、これだ、これだ、この世界だ。

「私の中に本当の喜びと温もりがあった。こんな幸せな時間を作ったことがない。こんな幸せな人生を生きたことがない。」

瞑想をすれば、心の中から、たくさんのたくさんの私の思いが伝わってきます。

過去、生まれ、そして死んでいったたくさんの私が、一斉にそういう語っています。喜びでそう語ってくれます。

それこそ数え切れない自分自身と出会います。それらが一斉に伝ててきます。

ありがとう。ありがとう。嬉しいと。

お母さんを呼ぶことがこんなにも嬉しかったと。

お母さんと呼べることがこんなにも幸せだったと。

肉を持って、そんな自分自身と出会うことが幸せで、だから、私は瞑想を喜んでしています。嬉しいから、自分と出会うことが嬉しいから、瞑想をしています。

そして、瞑想をしていけば、私は、やはり、無性に宇宙を呼びたくなるんです。心は、自然と宇宙を呼び、宇宙を思っています。

そうしたら、これもまた信じられないほど、私の中から伝わってくるものがあります。喜びが、温もりがどんどん私の中に押し寄せてきます。湧いて出てくるんです。

湧いて出てくる、いいえ、この喜びと温もりの中に存在していることを、本当に感じて、もうただただありがとう、ありがとうの思いが広がっていって、アルバート、アルバートです。アルバートしかないのです。

すごいと思います。やはり宇宙を思う瞑想、宇宙を思える喜びはすごいです。田池留吉の肉を通して、田池留吉、アルバートの波動を伝えていただいた事実、現実、本当にすごいです。

真実の波動を心で受ける喜び、私の中で、ただただありがとう、ありがとう、すごい、すごい、嬉しい、嬉しい、そんな思いが広がるばかりです。アルバートを感じられることが、改めてすごいとただただ感じるばかりです。

心の針を中に向けて、ただ自分を感じていく瞑想。瞑想が喜びです。

自分を感じていくことがどれだけの幸せなのか、田池留吉、アルバートありがとう。心の中に波動でこのことを伝えてくれていました。

「あなたの中の温もりを、喜びを信じて、信じていきなさい。」
何度肉を持っても、このメッセージとは巡り合えませんでした。

だから、私は私に狂い続けてきました。自分を見失い、自分を知らずに存在していることが、どれだけ愚かだったか、私は、今

の肉を通して、本当に心から知りました。

今、そんな私に、私が伝えてくれます。

「あなたはただ真っ直ぐに自分の道を歩いていきなさい。

今あなたが感じている世界にあなたはずっと存在していたんですよ。」

日々、瞑想をする中で、私は私と対話しています。

私の心の中に伝わってくる確かな世界。その確かな世界を、さらに確かにていけばいいだけです。それが私のこれから 250 年、300 年に至る時間。

喜びの中にあった。温もりの中にあった。そしてそれが私に他ならなかった。瞑想を重ねることにより、その思いもまた深く強く広くなっていくでしょう。

「居丈高に我は神なりと言い放っても、地獄の住人には違いはなかった。また、ささやかな幸せを求めてつましく暮らしても、地獄の住人には変わりはなかった。何度同じことを繰り返したら気が済むのか。私は、そんなものを求めて、この世に出ていくのではない。」

大きな強い固い決意とともに生まれてきたことを、学びを進めしていく過程の中で、本当に心で感じてきたから、今の私があります。

「肉が何でもできても困るし、何もできなくても困る。肉は程々でいい。しかし、自分の中を変えるについては、程々では全く不十分。自分の変革に自分を懸けていく思いは、超一流でなくてはならない。」

私はこの信条で今まで学んできましたし、これからも自分の学びを続けていきます。

田池留吉は言いました。**結果を出してくださいと。そして、その結果は必ず出ますと。**

私もその通りだと思います。

私は私に結果を出しました。今現在、瞑想をすれば、それが歴然としています。私の中は大いに変わりました。これからも私次第で、またぐんと変わっていくでしょう。私はそれが楽しみで喜びで、どんどん自分を見つめています。自分を感じられる瞑想の時間がありますがたいです。

私は、自分の心で気付いていったことは、素直にそれに従っていきます。心から、ああ、そうだと思ったことは、私の中で必ず現実のものとしていきます。それが、私に対しての誠意だと思っています。

心の中からどんどん出てくる温もりと喜び。私が私に応えてくれている幸せを感じながら、日々の時間を過ごせるなんて、本当に幸せです。

「幸せを感じていくのも自分なら、苦しみに落ちていくのも自分。」

このことを、私は今世の肉を通して、学ばせていただきました。

何をもって喜びと言うのか。何をもって温もりと言うのか。それも心で学ばせていただきました。

心が知っている。そして、その心は絶対に消えることはない。私が、田池留吉、アルバート、お母さんと呼ぶ心は私の中から絶対に消えることはない。変わることもない。これが私の今世の学

びの結果です。

その結果を踏まえて、250年後の来世があります。その間の私を感じていける嬉しさ、ありがたさを思うにつけ、本当に幸せだと感じています。

瞑想とは瞬間的なもの。もちろん、一時間瞑想も大切。どんどん心を向けて喜びの自分を感じていく時間を味わっていくのも、瞑想の喜びです。しかし、瞬間思えば、その時、心にドーンと響く世界があります。それはすごいです。確かに波動を受けている、実感です。田池留吉もアルバートも、波動として私の中にある、実感です。だから、嬉しいのです。だから喜びなんです。

田池留吉の肉は、時としてどうでもいいようなことをしゃべるけれども、そんな田池留吉の肉からは、決して推し量ることができない世界が、ふつと思いを向ければ感じられる。私にはそれがたまらなく嬉しいです。その落差を感じて、ああ、肉と意識とではこんなにも違うものかと、勉強をさせていただいています。

目を閉じて思う、思えば通じる世界が意識の世界。だから、ふつと思えばいいだけ。ふつと思えば、ぶわっとというか、表現はうまくできないけれど、瞬間的に心に響いてくるものがあります。それは、温もり、喜び、ありがとうの世界、言葉にすればそういうことです。

自分の心に感じ響いてくる世界。ここを感じていれば、本当に今あることが幸せで、自分という存在自体がもう幸せで、だから、本当にこんな世界を自ら葬り去ってきた事実に申し訳ない思いが

広がっていきます。

しかし、その愚かな自分さえも、何もなかったようにしっかりと受け止めてくれている現実もまた感じ、意識の自分はすごいと感じています。

田池留吉の肉がどんなに愚かな肉であっても、私はその肉を通して、真実の波動の世界を心に伝えていただき、田池留吉の世界を伝えていただいたことは確かなのだから、愚かな肉を互いに持つて、今という時間に出会えていることに、ただありがとうございます。

形の世界が崩れゆく時を目前にして、ただひたすら意識の転回を伝えに来てくれた意識。本当にありがとうございます。

意識の転回について思いを向けました。

意識の転回。私の意識の転回を心に感じています。ありがとうございます。

ああ、瞑想をして、私は私を感じています。意識の世界を180度転回していくことがすべてだと伝わってきます。

肉を基盤としている中で、何を思っても、何を感じても、どんなに思いを広げても、それは所詮苦しい闇の中でしかない。本当の温もりも、本当の優しさも、本当の愛も何も分からぬ。私は、今のこの肉を通して知りました。

意識の転回こそがすべてだと心の中から伝わってきます。

意識の転回をするために、この肉を持ってきました。その私を

感じてくださいと心に伝わってきます。

そうです。私は意識の転回をするために、この肉をもらってきたことを感じてきました。

私は自分の思いを実現させました。意識を転回させていく喜びを心に感じ、広げています。

瞑想は喜びです。瞑想は、私の喜びの世界と出会えるからです。すべてが喜びでした。すべてが喜び。

田池留吉、アルバートの波動が意識の転回を伝えてくれました。

心を向けなさいと、田池留吉、アルバートが伝えてくれました。

田池留吉、アルバートの波動を心に感じた私は、意識の転回をすることにより、たくさんの、たくさんの宇宙達に心を向け、喜びを伝えていくことができます。

宇宙に向ける瞑想が、私の自己供養だと私は語りました。

まさにその通りです。宇宙に向けて喜びの思いを広げていけること、温もりで、優しい思いで宇宙を包んでいけることが私の喜びです。

意識の転回を心で遂行させていく中で、私は今、喜びを広げ、喜びを感じています。ともに、ともに歩いていける喜びを、ただただ、ただただ広げていっています。

たくさんの宇宙達が語ってきます。

ありがとう。ありがとう。ただただありがとう。優しい思いが流れてくるよ。私達もともに帰れることを約束してきた意識です。宇宙達は応えてくれます。私の中に喜びが広がっていきます。

田池留吉、アルバートの波動の中で、このように語り合える喜びは、瞑想を通して私の中にどんどん広がっていきます。

心を向けていくだけ。喜びの世界を思い、喜びを広げていくだけです。

自分を感じる喜びです。心の中に向けて自分を感じています。

あなたは自分の心を感じていますか。あなた自身を感じていますか。

肉を通して瞑想をする時間を持っています。この心が私です。私はこの心です。ただただアルバートを呼んでいる心が私です。ようやく、ようやくその私と出会えました。

遙か、遙か彼方からアルバートを求めてきました。アルバートを呼び続けてきました。しかし、この心、私の心が私には届かなかった。

今、それが届いている現実を私自身感じています。本当に嬉しいです。

私は心です。今、感じ広げている世界が私です。私の中にたくさん私の私がいます。すべての私に伝えたい。伝えています。

アルバート…、アルバート。

田池留吉、アルバートの波動をありがとうございます。アルバートの波動を伝えてくれてありがとうございます。

私は幸せです。アルバートを呼べる私は幸せです。呼べば通じる世界。ようやく通じました。今の肉を通し、私は私を学ばせていただいています。そして、私に目覚めました。アルバートを呼んでいた私に目覚めました。心からアルバートと呼べる私に出会えました。田池留吉が伝えてくれたからです。

アルバート…、アルバート。

田池留吉です。私の意識に心を向け、静かな、静かな時間を喜びで迎えているあなたに伝えます。

どうぞ、田池留吉の肉を見ずに、田池留吉の肉を通して、田池留吉の世界に心を向ける喜びを広げていってください。心の中に私、田池留吉の意識、アルバートの意識が波動として伝えています。

この喜びの中にあったことを伝えてきました。心の中にあったんです。あなた自身があつたんです。あなたの喜びがあつたんです。

私の世界に心を向けて、あなたの中を感じていくとき、そのことは本当によくお分かりだと思います。

心を向けてあなたの心を感じてください。心の広がり、温かさ、優しさ、温もり、ただただその世界を感じていけばいいのです。田池留吉の世界へ心を向けることが喜びのあなた。私、田池留吉、アルバートが心で応えていく喜びを感じていけるあなた。私達の世界へようこそとあなたの中に伝えています。

心を向けていくだけです。喜びを、喜びをどんどん広げていってください。喜びだけが存在しているんです。あなたの中に、喜びがただただ広がっていきます。

あなた、田池留吉に心を向けていますか。田池留吉って、あなたにとってどんな存在でしょうか。

あなたは、なぜ、田池留吉に心を向けようとしていますか。欲ですか、それとも。

悩んでいる方、思い切って、素直・ハイで、田池留吉に向けてみませんか。悩んでいる方の多くは、己が偉すぎ、間違っていない、素晴らしい、と聳え立っているようです。母の温もりも知らず、また、神と金をしつかり掴んでいては何も分かってきませんよ。

いつまで頭をくるくる回し続けていくんですか。真実は、頭では分かりません。心でしか分かりません、心を見ていきましょうと25年以上も伝え続けてきた私の思いが分かりませんか。やっぱり、みなさん方は偉すぎるんですかね。肉のことは、存在の意味をしつかり理解し、程々に大切にしていきましょう。もちろん、肉体細胞と共に、自然治癒力を信じて、死ぬまで元気で。

悩んでいる方、心の向け先が間違っていますよ。修正を。一、二、三で分かってきます。よろしいですか。

田池留吉、アルバートの波動を感じて幸せになれないはずはない。必ず幸せを感じる。自分が幸せな世界にあることを、あたたかく必ず感じることができる。心で証明していけばいいのです。

自分を自分で感じ、心に喜びを感じ、こんな幸せな時間を過ごせることに感謝しかない。本当に感謝しかありません。

瞑想をすれば、そんな幸せな自分と出会います。

田池留吉、私は自分を思う時、例えようもなく嬉しいです。田池留吉、アルバートを思う時、例えようもなく嬉しいです。

今、感じている心で、自分を断つことができますか。人を傷つけることができますか。人に怒りをぶつけることができますか。

不満、愚痴を言うことができますか。

そんなことは全く不可能ですね。今、心に感じている喜び、温もり、優しさの中で、ただただ優しさ、ただただ喜びがすべての中にあったことを感じられるそんな心の中で、人を恨み、呪い、抹殺していく、闘いを起こす心などどこにも存在しないはずです。

この心を忘れてしまったから、人類の歴史は闘いの歴史です。いいえ、人類の歴史だけではありません。遙か、遙か彼方より、闘いと破壊のエネルギーを流し続けてきたんです。

今のこの心を忘れ去ったからです。

私、田池留吉は、この心の世界をそれぞれの中に蘇らせていくましょう、思い出していきましょうと、ずっと呼びかけてきました。

あなたを産んでくれたお母さんの反省をしましょう。お母さんに向けて瞑想をしましょう。まずそこから語りました。

母の温もりがすべての原点です。温もりを忘れ去った心の中に、何を広げてきたか。どんなエネルギーを流し続けてきたか。それぞれがそれぞれの肉、その心を通して、知っていかなければなりません。

それが、これから250年に至る地球人類の歩む道筋です。

自ずと、どのような時間空間が用意されているか、感じられることでしょう。

自分を感じていくことが喜びです。田池留吉はそれを自己供養と言いました。自分を感じていける喜びです。私は温もりです、私は喜びです、という自分と出会ったから、しっかりと自分を受

け止めてやれる喜びを広げていけるんです。

私は、田池留吉に瞑想をする中で、何度か聞いています。私に何かアドバイスはありませんかと。返ってくるものは、いつも、どんどん瞑想をしていくことだけです。というものです。

瞑想でも色々あるんですよ。目を閉じて静かな、静かな喜びの時を持つ瞑想。瞬間的に喜びを感じる瞑想。

そこで、私があなたにお勧めするのは、日常の生活の中で、ふつと思う瞑想です。

ああ、これも瞬間的です。瞬間にふつと思う。肉は色々見ながら聞きながら、心の針が揺れたりずれたりすると、ふつと瞬間にそれを自然と元の位置に戻す。それをあなたの中で習得していくんです。

意識的にではなく、自然とそうなっていく。あなたのなかが自然とそうなっていく。そのことをあなたにお勧めします。

田池留吉の波動を心に感じる喜びが、あなたのなかに広がっています。ああ、田池留吉は波動なんだ。波動の世界なんだ。私も波動なんだ。この波動の世界を心で感じていける。ずっと、ずっとこれからも永遠に感じていける。そんな喜びがあなたの中に広がっているでしょう。あなたは、瞑想することにより、それをどんどん強く広く深くしていくでしょう。

肉を持っていても持っていないても、あなたはあなたのなかを感じていけるんです。喜び、喜びのあなたを感じていける。自分を感じていけるとはそういうことです。自分の中にある喜び温もり

が自分を包んでいく。つまり、自己供養ですね。その自己供養を肉があってもなくても、ずっと、ずっと続けていく。それがこれから250年、300年にかけての学びです。

どんどん学んでいける喜びです。心が語ります。ああ、私は喜びでした。私は温もりでした。はい、ありがとうございます。その思いだけを語っていってください。自己供養を通して、優しいあなた、温もりのあなた、喜びのあなた、広がるあなたをどんどん感じていきましょう。その思いを広げていってください。

思えば嬉しい。思うだけで嬉しい。何が嬉しいか。自分を感じられるから嬉しい。自分の中に尽きることのない温もりと喜びが感じられるから嬉しい。

何度、瞑想をしても心が広がっていく。限りない優しさの中に温もりが湧いてくる。こんな楽しい時間はない。ああ、私はこんな世界に存在していたんだ。自分を感じていくことがたまらなく喜び。

私の中で積み上げてきた学びの成果。今、私は、自分の中で存分に感じています。その結果を踏まえ、私は、自分の中で一歩、一歩、歩み続けています。自分を感じていく道。どこまでも、どこまでも自分を感じていく道。自分の出すエネルギーを自分の中に戻し、それを自分の中で味わっていける喜びの道です。

自分の中に戻し、自分の中で味わっていくたびに、心の中に温

もりと喜びが広がっていきます。それを繰り返し、繰り返し、やっているうちに、私は250年後の肉を持たせていただきます。

そんな自分の時間というか、自分自身が、瞑想をする中で心に感じられるから、なおいっそう嬉しい思いが募ってきます。

長かった、本当に長かったです。しかし、自分に結果が出せたことが本当に心から嬉しいです。長く、長く、真実はどこにある、という疑問に自らが答えを出しました。

心に広がる確かな世界。波動の世界。これが私の真実だったと心から言える喜びが、さらに自分を進化させる方向に歩ませるのです。その流れが私の中でできています。この意識の流れとともに存在していくだけです。

自分を思う、心を中に向けて自分を思う、温もりが溢れてくる、こんな幸せなことはありません。自分を思えばこんなに優しくて、温もりの自分と出会える。

今という時をありがとう。心の中にこの思いが広がっていきます。今という時をありがとう。自分に自分が語ってくれている思いに心を向けます。

自分を信じて、信じて、信じていける喜びです。私の中には限りない優しさがあります。ありました。温もりの世界がありました。自分を信じていける喜びがあります。信じて、信じて、信じていけるのがこの世界です。

私は自分を裏切ってきました。自分を見限ってきました。愚かな転生を繰り返してきたけれど、ようやく、この自分の中にある温もりを、優しさを、広がりを自分だと信じていける喜びと出会っています。

これが私の世界です。今をありがとう。私にありがとう。ただただありがとうございましたが、こだまします。ありがとうございますが返ってきます。

肉はどこまでも愚かです。しかし、私は、肉ではなかった。この素晴らしい世界が私。この中にある喜びを、ただただありがとうございましたの思いを、自分に返していく喜びを広げていきます。

そんな私があります。私は瞑想をする中で、そんな自分と出会えることが、本当に嬉しいです。幸せです。日々瞑想をして、私は自分を本当に感じています。

もちろん、心の底の底からどんどんブラックのエネルギーが湧いて出てきます。はい、私はそのエネルギーをしっかりと感じています。しかし、私の中にもう苦しみはありません。そのブラックのエネルギーは喜びなんです。私の中で、喜びに変えていける。私が温もりだと知ったからです。こんなに喜びの自分がありました。本当に私の中は喜びがどんどん広がっていきます。

大きな闇のエネルギーを感じるごとに、私の中には喜びが広がっていきます。喜びです。私の中からどんどんどんどん間違ってきた苦しい、苦しいエネルギーを感じます。しかし、私は喜びでした。決して暗闇ではありませんでした。私は苦しみではありませんでした。私は喜びでした。温もりでした。

中の目を開いて、心を向けています。田池留吉、アルバートの目を感じます。はい、優しい、優しい目を感じます。心の中に広

がっていく喜びです。ありがとうございます。ありがとうございます。田池留吉、アルバートに心を向けていくほどに嬉しいです。

田池留吉、これが私なんですか。本当に私なんですか。この広がる温もりの世界が私なんですか。この心の中からたくさんの私が尋ねてきます。

私は私に伝えます。

そうです。それがあなたなんですよ。私なんです。それが私達なんです。

心の中に広がっていく喜びと温もりの世界が私達なんです。

はい、それが私達です。嬉しいですね。本当に嬉しいですね。

本当に温もりが私達だと心に響いてくる世界。この世界が自分だと信じて、信じていこうとたくさんの意識達が伝えてきます。

学びの手順を踏んでいけば、誰にでも感じられる世界がある。そして、それが本当に自分だと深く知つていけば、今一つの肉体があって、そんな自分と出会える、こんな幸せなことはないと、本当に心から感じられます。**自分と出会える、これ以外に何の喜びがあるのでしょうか。**

本当の自分を知らずに、苦しみの中に落ちてきた愚かさは、本当のことが心で感じられて初めて知ることができます。

私は愚かでしたという言葉のすぐ後から、その愚かな自分を野放しにしていくのは、愚かな自分にまだまだ気付けていないからでしょう。

本当に自分の中に喜びと温もりが限りなく広がっている、そんな世界が自分だったと本当に心で知っていたとき、愚かな自分を受け止め抱きしめるまでもなく、もうそんな自分はたちどころに消えてしまっている状態です。一瞬のうちに、ああ、私は温もりでした、ありがとう、ありがとう、嬉しい、本当に嬉しい、そんな思いに変わっていくのです。

瞑想の醍醐味です。そんな時間をたくさん持たせていただける自分に対して、またまたありがとうの思いしか出てきません。

それ以外の思いは、全くの欲、肉という形を持ったが故の欲の思いです。

肉という一つの形を通して、本当に自分の世界を知ることができます。私は、瞑想を繰り返してその幸せ、喜びを心で感じています。

すごいと思います。本当にすごいと思いました。

瞑想をする中で、意識の世界、波動の世界の確かさ、素晴らしさを感じ、自分という存在がすごいと思いました。**田池留吉、アルバートの波動の中にある自分**というものが本当にすごいと思っています。

お母さんの思いが心に広がってくる。優しい、優しい私の思いがあります。こんな自分に触れたかったんですね。お母さん。

田池留吉、私の感じている世界は、もっと、もっと大きく広がっていきますか。温もりの厚さが深く大きく広がっていきますか。

田池留吉です。心の中に針を向けて、アルバートの波動を感じていけば、あなたのうちに、私、田池留吉、アルバートが語っていることが分かるでしょう。

私の思いを波動として受けしていくあなたの心の中は広がっていきます。

私に心を向けてさえいれば、心の中をどんどん見つめていけるんです。

あなたの肉では分かりません。しかし、あなたが目を閉じて、心を中に向ける時間を持てば持つほど、宇宙は喜びます。

宇宙に流せるエネルギーは大きく、大きく厚くなっています。

宇宙に喜びが流れていくのです。だからその思いが、あなたの心の中に波動として伝わってきます。

あなたの心の中は広がっていきます。温もりがもっと、もっと溢れ出でます。心の中を見つめていけばいくほど、そのエネルギーが宇宙に流れしていく。あなたを通して、宇宙、意識の世界へ流れしていく。喜びのエネルギーが流れています。そして、宇宙から返ってくる喜びの思いがあなたの心に届きます。その届いたエネルギーが、あなたの内で、喜びをさらに大きくしていくんです。温もりを伝えてくれるんです。温もりと喜びが増幅して、あなたの心の中に返ってきます。

あなたはその肉を通して、瞑想をしていくだけです。私は何度も伝えました。目を閉じて心を向けるだけ。

あなたの心の世界はどんどん広がっていきます。

今、あなたが感じている喜びと温もりの世界は例えようもない

と、あなたは表現しました。しかし、それもまたさらに広がっていくと、今、感じている世界は小さく感じられるんです。

どうぞ、瞑想をする時間、喜びで、喜びで持っていってください。

あなたの心の中にある喜び、温もりの田池留吉、アルバートの波動を心で受けていけるあなたの中に、さらに伝えます。私、田池留吉、アルバートの波動をさらに伝えてまいります。喜びです。喜びです。喜びです。

心を向ける喜び。心を向けられる喜び、幸せ。ああ、本当にすごいです。

こんなに喜びの時間が自分に用意されているとは、私の中では驚きです。

私が広がっていく。温もりの中へどんどん広がっていく。

この感じている世界は、いったい何だろうかと思うくらいです。

アルバート…、アルバート…。アルバート、アルバート。

田池留吉、私は、田池留吉に聞くまでもないことかもしれないですけれど、私が今、心に感じている世界はいったい何だろうかと思うくらい嬉しいんです。

瞑想が変わったと感じましたが、本当にすごいです。

肉の私には全く分かりません。しかし、本当に瞑想で感じる世界が変わりました。心の中に喜びが、ふっと心を向けるだけで広がっていくんです。

田池留吉です。私は、ずっと、ずっと以前からあなたに伝えてきたことがあります。あなたの心が本当に変わっていく瞬間があるんですよと。

それが今、あなたが体験している心の変化もその一つだと思います。

しかし、あなたの中は、もっと、もっと変わってまいります。
私はあなたに伝えます。

どうぞ、田池留吉の世界に心を向けられる喜びをあなたの内で存分に味わってください。

あなたは、もう充分に感じているという感想を持たれていますが、しかし、私はお伝えします。

あなたの心の中に、私、田池留吉の世界を本当に呼んで、呼んでいけるそんな喜びを、もっと、もっと感じていけるんです。

これは欲でも何でもありません。あなたがあなたに予定してきた道筋です。あなたはその喜びの道を、ただ淡々と自分の中で進めていくと思います。私の肉があってもなくても、あなたの肉があってもなくても、あなたはこの喜びの道を本当に、一步、一步着実に歩んでいけるんです。

それがあなたという存在です。あなたという存在に、私が出会えたという喜びを、あなたの心の中で、もっとよく知りたいと思います。

だから、あなたの心を、もっと、もっと向けていこうと思うのは欲でも何でもないんです。ただただ喜びです。そして、予定されている道筋です。

どうぞ、心から田池留吉、アルバートを本当に心から呼んでいてください。あなたの心の中は、どんどん広がっていきます。

あなたに今、私はお伝えします。

ずっと以前にお伝えしたことが、今、現実のものとなっていると思います。そして、今、お伝えしていることは、またあなたが、瞑想を重ねることによって、現実のものとなっていきます。

どうぞ、喜んで、喜んで、あなたの学びを進めていってください。私、田池留吉は、それをただただ楽しみに待っています。心を向けていただけすることが私の喜びです。

私の波動をしっかりと受けていただけることが私の喜びです。あなたの心の中にお伝えします。

田池留吉、アルバート、ありがとうございます。一筋に学んでまいります。ただひたすら心を向けてまいります。

母なる宇宙を心に呼び、母なる宇宙に心を向けてみます。

待って、待って、待って待ち続けてくれていた。母なる宇宙へ思いを向けると、ああ、お母さん、お母さんと思いが膨らんで、あとは言葉になりません。異語が出てくるばかりです。

宇宙に広げてきたブラックのエネルギーとともに、私、母なる宇宙へ帰ってきなさいとあなたに伝えました。宇宙に広げてきた凄まじいエネルギーとともに母なる宇宙へ帰っておいで。母なる宇宙へ帰っておいで。

それが私とあなたとの約束でした。

宇宙に心を向けて、あなたの思いをもっと、もっと語っていく
んです。

宇宙に垂れ流してきたブラックのエネルギーを心の中にしっかりと感じ、あなたの思いを私、母なる宇宙へ向けてきなさい。ともに帰ってきなさいと、私はメッセージを送ります。

今の肉を置いて、250年後の肉を持つまでの間の私の学びの道筋を心に感じます。私を感じます。嬉しいです。はい、ただただ宇宙へ心を向け、この思いを心に感じてまいります。

私は喜びのエネルギーでした。ブラックのエネルギーをしっかりと受け止めて、しっかりと自分の中へ帰していけることを、ああ、私の中は、ただただそのことを喜びと感じています。

250年後の肉を持つまでの間の私を、今、心に感じています。
嬉しいです。たくさんの宇宙達に喜びを伝えていける。ああ、
これが天変地異のエネルギーですね。ありがとうございます。私は喜びで、喜びで、この思いを流してまいります。

そして、私は再び、肉を持ちます。アルバートの肉とともに、
この喜びを宇宙へ流すために肉を持つこの意識の世界を、今、心
で感じています。

ああ、嬉しいです。嬉しいです。

私は、**自分を学ぶ**ために、今のこの肉を持ってきた。その思い
がただただ私の中に喜びとともに広がっていくばかりです。

瞑想を重ねていけば、自分を学ぶ喜びが心を満たしていきます。
温もりと喜びの中にあった自分をどんどん感じていける時間、
喜んで、喜んで通過していきます。

自分の中を感じ、自分に優しさと温もりと喜びを伝えられることほど、幸せなことはありません。

自分に本当の優しさと温もりを伝えることができる時間を持つれば持てるほど、幸せな人生でした。

心の針を中に向ける、そして自分を感じていく。心の中に、アルバートと呼んでいる自分と出会う。最高に幸せな時間です。そんな時間を、日々積み重ねていけることにありがとうございます。しかりません。

見限り、切り捨てても、私は私から離れられなかったんです。自分を消し去ることなどできませんでした。

温もりと優しさの自分と出会ったから、自分を抹殺してきた冷たさを心で感じてきました。自分は冷たいって思えたことが、嬉しかったです。本当に嬉しかったです。氷のような冷酷な自分と出会えたことが嬉しかったのです。出会わせてもらったのは、私だったからです。

心の中から、どんどん湧いて出てくる優しさと温もりが、冷酷無慈悲な私を感じさせてくれました。

そして、感じていけばいくほど、冷酷無慈悲な私はどこにもありませんでした。ただあるのは、温もりだけ。喜びだけ。限りない優しさが私の中に広がっていったのでした。

そんな反省瞑想を、私はセミナー会場で過去、どれだけ体験させていただいてきたことか。これが私の勉強の第一段階でした。

そして、今は、自宅でも、ふっと心を向けて瞑想をすれば、心

に響いてくる温もりと喜びの世界があります。その世界にある私をはっきりと感じています。

ああ、この世界は決して消え去ることのない世界だ。肉を離し持つていけるのはこれだ。そう感じています。そう感じられることが幸せだと思っています。そして、私の勉強の第二段階が始まっています。

尽きることのない意識の世界、私の世界をいつも、いつも嬉しい、喜びの思いで学んでいけることが私には本当に嬉しいです。

自分を感じていく喜びです。私はこの喜びの思いを、もうこれからずっと、ずっと持ち続けていくことができるんです。

自分を学んでいく喜びと本当に出会えました。思えば、喜びの中にあったこと、温もりの中にあったことを、私の心は伝えてくれます。

愚かな肉に届きます。私の思いが届きます。

今世の肉を通して、ようやく、真実の波動の世界を心でしっかりと受け取ることができました。

過去、第一段階の学びを存分に活用させていただいた結果を踏まえ、今、瞑想をすることが何よりも嬉しいと、私は、心からそのように思っています。

数々の心の体験を経て、今の私があります。汗と涙にまみれて、自分を感じて、感じてきたあの時間と空間。私は若かったです。自分のエネルギーをこの肉が充分に受け止めていける体力のある間に、存分に学ばせていただいたありがたさが、瞑想をすれ

ば心に響いてきます。

その時、その時でしか学べないものが確かにあります。私は、それをきちんと自分の中で消化してきたと言えるでしょう。

だからこそ、今の私があると私は思っています。

そして、今、これから私が学んでいくこともまた、私は時機を逸することなく、学んでいくでしょう。

田池留吉、アルバートの波動と出会えた喜びを、本当に心から感じているから、私は私を可能な限り学んでいくのです。

なぜ自分を思えばこんなに嬉しいのでしょうか。私の中に、本当に嬉しい、嬉しい思いが突き上がってくるんです。

はい、それはあなたのこれから時間、あなたがどのように存在していくかを自分の心で知っているからです。はっきりと感じているからです。

あなたの中には、田池留吉、アルバートをしっかりと呼べるあなたがあることを、今の肉を通して知っています。感じています。だから、あなたは、心には何の不安もないはずです。何の悲しみもないはずです。ただただあなたの中を知っていく喜びだけがあなたの中を満たしていくんです。

だから、自分を思うことが嬉しいはずです。思えば思うほど嬉しいはずです。心が広がっていくはずです。

私はその中で、あなたに伝えます。

はい、さらに、自分に心を向けてごらんなさい。あなたの中に、

田池留吉、アルバートの世界をさらにしっかりと広げてもらなさい。

あなたの中は、さらに変わってまいります。私はただただそのことをあなたに伝えます。

嬉しい、嬉しい思いが、さらにその厚みを増していくんです。自分を思うことが嬉しい。自分を思えることが嬉しい。喜びが心に広がっていく。その喜びと温もりの世界のあなたを、ただただ感じていってください。

私の肉がある間はもちろん、私の肉がなくなった後も、もちろん、あなたは、あなた中でしっかりと瞑想をする時間を持っていくはずです。

そうした時、あなたの中から、私のメッセージがしっかりと届きます。

波動として、受けていけるあなたの喜びを、今、私はあなたに伝えます。肉があって私のメッセージを受けるとき、私の肉がなくて私のメッセージを受けるとき、その喜び、温もりの世界、その大きさ、色々なものをあなたの中でどんどんどんどん感じていってください。

その喜びの学びが、あなたの肉がある間、残されています。どうぞ、しっかりと学んでいってください。

あなたはあなたに伝えていけます。喜びと温もりを伝えていきます。

私、田池留吉、アルバートの波動を心で感じていける喜びを、どんどん広げていってください。

田池留吉、ありがとうございます。私はただただ心を向けてまいります。思えば幸せ。思えば嬉しい。この瞑想をする時間、しっかりと自分の中で持ち、私は私の学びを進めてまいります。

とても嬉しいです。こんな嬉しい時間、自分に用意していたことを、ただただありがとうございますの思いで、喜びで、受け取っていきます。

私は私にこんなに幸せな喜びの人生を用意しました。ありがとうございます。

さらに、田池留吉、アルバートの世界を心に広げていくとはどういうことでしょうか。

はい、それは、さらにあなたの中で自分を供養していく道を、ただひたすら真っ直ぐに突き進んでいくということです。

自分を供養する、自分を自分で包んでいく、優しさと温もりの中にあった自分を心に思い起こし、そんな自分を信じて、そんな自分が優しく、優しく抱きしめていく、その自己供養の道を、ただひたすらに真っ直ぐに突き進んでいくということです。

あなたの中に、宇宙に広げてきた世界があります。その世界がさらに、田池留吉、アルバートの喜びの世界へといざなってくれるでしょう。

あなたが宇宙を思えば思うほど、心の中に広げてきた闇のエネルギー、ブラックのエネルギーが、あなたに喜びをもたらしていきます。

間違っていました。私達は間違っていましたと、自分の中に喜

びの思いを伝えてくれるんです。

ああ、私達はこんな喜びの世界にありました。温もりの世界にありました。あなたがその肉を通して、どんどん自分の中を広げていくこと、その宇宙を感じていくこと、それがあなたの世界を、さらに、さらに広げていくことに繋がっていきます。

それを、私は自己供養という言葉で表現しました。

宇宙を思えること、それがあなたの自己供養。そうです。あなたの自己供養は、宇宙を思うことです。

この三次元にやってくる前に培ってきたエネルギーをしっかりと見つめていくことです。

そのエネルギーのままに、この三次元にやってきました。三次元を見つめていくことも、もちろん大切ですが、あなたのの中は、それに留まることをよしとしていません。

ただただ喜びの思いを心に広げていくためには、宇宙を思うこと、あなたのすべてを思うことだと、中から突き上がってくるのではないかでしょうか。

喜びの瞑想です。瞑想を通して、どんどん自分と出会い、どんどん田池留吉、アルバートと出会ってください。

あなたの内で喜びが広がっていきます。

すごいエネルギーを培ってきました。

はい、アマテラスはほんの小さな、小さな世界でした。

もっと、もっとすごいエネルギーを宇宙に垂れ流してきたあなたのなか。これから時間を感じていってください。

それが私、田池留吉、アルバートからのメッセージです。

田池留吉、アルバートの世界を感じていくほどに、あなたのなか

の宇宙は喜んでいきます。

喜んで、喜んで、喜んで自分を見つめていく、その喜びと温もりの中へ、あなたをいざなっていけるのは、田池留吉、アルバートの喜びの波動しかありません。温もりの波動しかありません。

この波動をしっかりと心に感じていけるあなただからこそ、狂うことなく、ぶれることなく、あなたをしっかりと包んでいけるんです。

田池留吉、アルバートの波動をしっかりと心に広げ、喜びであなたを見つめていってください。

肉体細胞は、いつも、田池留吉、アルバートに心を向けています。そして、いつも、愛を流しています。病んで傷ついた肉体細胞も、流しているのは愛。

肉体細胞の存在など全く無視してきた私でした。それが学びに集う前の私でした。また集ってからも、長らく肉体細胞が語ってくれることなど信じられる私ではありませんでした。

それが今は、上記のような思いを語っている私と出会っています。肉体細胞に思いを向けている私があります。肉体細胞を感じている私があります。驚きです。そして、思いを向ければ、全くその通りです。肉体細胞からは、本当に優しい思いが届きます。喜びを伝えてくれています。それを感じている私に私は驚きながら、そう感じられる私が嬉しいと単純に思っています。

思えば、この学びは本当に単純なものです。

ありがとう、お母さん。 そう心から本当に言うことができれば、あとは何も全く難しいことはありません。ただ、それそれにありがとう、お母さんと心から言えないものをたくさん握っているだけです。

肉では言えるし、思えるかもしれません。しかし、心から本当にそう言えて思えるということについては、本当のところどうでしようか。

あなたは、お母さん、ありがとうと心から言えないもの、言えない訳、それはいったい何だと思いますか。

その言えないもの、言えない訳が、学びの動機にも繋がってくるし、当然、そのところが修正されていなければ、所詮他力信仰の枠を超えていくことができないことになります。それは、やがて、時間の経過とともに、はっきりしてきます。

喜びと温もりの世界を感じていけばいくほどに、全く単純なことながら、なぜこんな単純なことが人間の心に浸透していかないのかと思います。やはり肉の基盤から脱する難しさは並大抵のことではないんだと感じています。

肉としての喜び、幸せに私は充分に満たされています。しかし、そんな喜び、幸せなど本当に取るに足らないものです。

瞑想で心に感じる世界、意識の世界からすれば、本当に取るに足らないものです。

宇宙を思い瞑想をすることに尽きるんです。ああ、喜びです。

私の肉体細胞も宇宙です。この宇宙の中に、私は肉体細胞という愛を持ちました。この肉体細胞とともに宇宙を思える私は幸せです。心の底から、幸せを、ありがとうございます。本当にありがとうございます。私が私に目覚めてくれて、本当にありがとうございます。

田池留吉、アルバートと語り合えることが喜びです。目を閉じて、田池留吉、アルバートの波動を心に感じられる喜びだけです。ただその喜びだけです。私は求めてきました。今、それが本当に現実となって、私の中に押し寄せ広がってきます。

言葉も何もありません。ただ心に感じています。

意識の世界は便利です。通じることを知れば本当に便利です。

私がこんなことを聞きたいと思って聞けば、ほぼ完璧に答えが返ってきます。そして、そのメッセージを私は私の中で喜びで味わっていけばいいことを知っているし、その波動とともに肉も存在していけばいいことも、心で知っています。だから、この肉体細胞とともにある時間、喜び、喜びで過ごしていけます。

私には、今現在、悩みとか困ったこと、そういうものはありませんが、例えば、これから先、自分の周りでそれと似たようなことが起こった場合、私は、それを少し横に置いて、このように瞑想をします。そして、中からの思いを聞きます。波動を感じます。その波動とともに、私は肉の事柄に対処していくでしょう。

自分の中から出てくる思いに従っていくについては、すべて自己選択、自己責任が原則です。私にはその体制は整っています。私は私の中で作り上げてきました。

日々、淡々と瞑想をしていって、私は私を感じて嬉しい、田池

留吉、アルバートを感じて嬉しい、田池留吉、アルバートに聞いて嬉しいと、すべては喜びの中にあるという意識の世界を心に感じています。

自分で聞いて、自分で答える、その中で感じる波動の世界。

その意識の世界が確立していれば、自ずと肉のあるなしにかかわらず、自分の歩みを進めていけるのです。

そんな学びを私は肉がある間、可能な限り、精一杯やっていきたいということです。

田池留吉、アルバートを思い、自分でどんどん学び続ける。それには、瞑想。自分を学ぶ喜び、自分を学べる喜び、それを瞑想を通して感じていくだけです。

心に伝わってくるとか、心に響いてくるとか、長らく分からなかつた私にとって、今の状態は本当に不思議、そして驚きとしか言えません。

今は、思えば、思うだけで、自分の中に確かに響いてくる世界があります。そして、それは、本当に優しくて温かくて何とも言えない世界です。優しさと温もりと喜びで自分を包んでいるのが分かります。だから、もう言葉も何もなくて、ありがとうの思いだけが広がっていくのです。自分を感じることが嬉しくて幸せ、目を閉じれば、そんな世界が心に充満してきます。

形ある世界しか信じられなかつた私の心は、本当に変わらせていただきました。自分を思って嬉しいなんて、そんな思いが私の心から出てくるとは本当に驚きです。

私は、学びの年月を振り返って、自分に対して、このような感想を持っています。しかし、中の私の思いは違っていました。

私の今の状態は、不思議でもなければ驚きでもありません。私は私の予定通りの歩みを進めています。長らく私は自分を**鈍感な状態**にしてきました。万に一つも私の計画が頓挫することなく遂行されなければならなかったためです。

私が培ってきたエネルギーを自分で受け止めていくには、自分の中の温もりを確実に蘇らせていく必要がありました。それが不確かな状態では、私が私のエネルギーに飲み込まれていく危険性があったからです。

過去と同じく、自分のエネルギーに飲み込まれ、自分に振り回されているようでは、意識の流れが順調に流れしていくことができない。しかし、そういうことは決してあり得ないことだからと、私は知っていたのです。

だから、鈍感も愛。今はその状態で、しっかりと母の温もりを確立しなさい。私は私の中で、そんなメッセージを送り続けてきた時期がありました。

やがて、私は、無条件に受け入れていただいている喜びを自分の中にはっきりと感じました。無条件です。どんなに裏切り続け切り捨ててきた私であっても、その私を**無条件で受け入れてくれている私と出会えた**のです。それ以後、それが私だったと確信、確信の道を歩いています。

意識の流れが滞りなく順調に流れている今です。万に一つの狂いもなく今があることに、ありがとうございます。

私の中の温もりは、田池留吉、アルバートです。私の中の喜びは、田池留吉、アルバートです。だから、私は私を思えば思うほど嬉しいんです。

私は田池留吉、アルバートに一瞬のうちに心を向けることができます。

心を向ければ向けるほど、喜びが広がっていきます。温もりが広がっていきます。それが私の世界でした。

心を向けることが喜び。心を向けられることが喜び。

私は喜びです。私は温もりです。本当にその通りです。

この世界から私は、過去の私、未来の私、今の私、すべてをこの世界から包んでいけることが嬉しいです。

瞑想をすることが、ただただ嬉しくて、嬉しくて、本当に嬉しいです。

限りなく優しい私と出会えます。温もりの中で喜びの中で委ねていける幸せを味わっています。

ゆったりとした、静かな喜びの時間と空間をいただいていることに、ただただ感謝です。

そして、もう一つ。私の肉体細胞にもただただ感謝です。

肉体細胞の喜びの波動、温もりの波動が心に伝わります。

その肉体細胞の思いを心に感じながら、私は、私の意識の世界は宇宙を呼んでいけることがたまらなく嬉しいです。

私は、本当に自分の望み通りの時間と空間を持たせていただ

いています。今、心に感じている世界に自分は存在しているんだ、これが私なんだとそう思えるから、瞑想をしてどんどん自分と出会っていく喜びだけがあります。

私は、私の中の温もりと喜びに触れて、本当に喜んでいます。
私は本当に幸せです。

目を閉じて私を感じるとき、本当に嬉しいです。田池留吉、アルバートと呼べることが嬉しい。思えることが嬉しい。心を向けられることが嬉しい。喜びの瞑想の時間を持てることが嬉しい。

この嬉しい私を肉がなくても感じていけると、感じられることが嬉しい。

嬉しそくめです。

私は、今、自分の心から語りかけたいと思う学びの友がいます。
瞑想をして、心が広がり、喜びと温もりを感じる中で、私は、
その友を思い、語りかけています。

今日も、語りかけました。

どんなことも、どんなことも喜んで、喜んでいきましょう。
どんなこともあります。肉体をベッドに横たえたままのあなたでも
喜びです。まだまだ心をしっかりと田池留吉、アルバートに向け
ようと思えば向けられるからです。

まだ、あなたの肉体細胞は動いています。しっかりと心を向けて
いただけるように、肉体細胞は必死で動いてくれています。

その思いを心に感じていけば、そこから本当に喜びがどんどん感じられると思います。

お母さんが肉をくれた喜び。そして、今、あなたが肉体細胞に支えられて、今、本当に、田池留吉、アルバートのほうに心を向けようと時間をいただいている喜び。すべては喜びでした。喜びの中で喜びのあなたが存在しているだけなんです。

苦しみ暗いあなたはどこにもありません。ただそれをすべて、すべて闇に葬り去ってきただけです。

そして、闇を自分だと思い込んできた愚かなご自分をしっかりと感じていってください。

すべては喜びでした。すべては温もりでした。私は、そのことを、今あなたに伝えます。

ともに、ともに学んでまいりましょう。私はあなたに心を向けて、語りたいと思います。私の思いを語りたいと思います。

どうぞ、私の思いを感じていってください。

私は、田池留吉、アルバートの世界を心に広げています。田池留吉、アルバートは私だと、本当に心で感じています。

だから、私の肉を思わずには、ただただともに学んでいける学びの友として、私を見てください。

そして、お母さんと素直に呼んでください。お母さんと素直に呼んで、あなたの心をしっかりと感じていってください。

時間はまだあります。あなたがお母さんと、本当に素直に、素

直に呼んでいた頃のあなたを思い出して、そして、そのあなたとともに、田池留吉、アルバート、お母さんを思う時間を持ってください。

何も要りません。ただ、田池留吉、アルバート、お母さん、ただただ素直に呼んでいけばいいんです。

かつて、セミナー会場の現象の時間に、あなたを足で蹴飛ばした私でした。あれが私のあなたへのたった一つのメッセージだったように思います。互いの中のアマテラスをしっかりと見つめていこう、私は、あなたに、そして、私に、この肉体を使ってそんなサインを送っていたのだと思います。

しかし、あれから、私達の道は大きく別れていきました。

私は、あなたの中のアマテラスの勢力が依然として強いことを、真正面から伝えたいのです。どうぞ、本当の優しさと温もりをあなたの中のアマテラスにお伝えくださいと、私は心の底からそのように思っています。

しかし、残念ながら、あなたにはそれを充分にやっていける時間は残されていないかもしれません。いいえ、本当はこれまでに十二分にあったのです。それをあなたは活用できなかったのが現実です。

しかし、まだ時間はあります。心から、田池留吉、アルバート、お母さんを本当に心から呼んでいってください。私は、あなたに語りかけていきます。それが私の喜びだからです。私は温もり、あなたも温もり。私は喜び、あなたも喜び。そう私はあなたに伝え続けます。

私は、どんどん瞑想をして学びの友に伝えていきたいです。
心からその思いが突き上がってきます。
夫がその命を捨てるとき、私は何も伝えることができませんでした。

父がその肉を置いていくとき、私は、当時、自分の中に感じていた喜び、温もり、アルバートの世界を、その当時の段階で伝えました。そして、今もなお、ふつと思いを向けています。

私は、今、今の私が自分の心で感じているもの、波動を伝えていきたいと思う友がいます。私は、その友の意識の世界に語りかけることをやっています。

もちろん、瞑想をすれば、その何十倍も、何百倍も、いいえ、数限りない宇宙達に思いを向けていくことができます。

私の心の中に感じ響いてくるものを、ただただともに、ともに存在している喜びとともに、温めるとともに、私は本当の波動を伝えていきたい、伝えていこう、そんな思いが私の中から自然に出てきます。

私は、真実の世界に触れ、真実の波動の中にある自分を感じ、そんな自分の世界をどんどん広げていける喜び、幸せを、今、肉がある間はもちろん、肉がなくても感じていける喜びの中あります。

これは、本当に自分の計画、予定とはいえ、こうして、現実に母から肉体をいただき、学びに集わせていただき、滞りなく学びを進めさせていただいてきたからです。

思うだけで通じる世界が意識、波動の世界です。本当の温もりと喜び、友に意識を向けながら語っていきます。

お母さん、ありがとう。お母ちゃん、ありがとう、心からそう思えたならば、こんな幸せなことはないね、友にそう語りかけています。

どうぞ、田池留吉、アルバートにともに心を向けてまいりましょう。

心から伝えます。あなたは温もりです。優しい、優しいあなたが本当のあなたです。

これは、何度も、何度も、あなたが耳にしてきた言葉です。

しかし、私は、それを今、あなたの意識の世界へ、波動として伝えています。私の思いを伝えています。心から、心から感じていてください。

肉体細胞は心で感じています。肉体細胞は感じてくれています。

だから、あなたを支えています。たくさんの凄まじいエネルギーを流してきたあなた。肉体細胞はそれを、ずっと支えてくれていました。

そして、ただただ喜び、温もりを流してくれました。

私はその思いを心に感じます。だから、**肉体細胞よ、ありがとう、ありがとう、ありがとう**という思いが心から湧き出でてきます。

この思いをあなたも感じていただきたい。

肉体細胞は応えています。

ああ、私達は喜びです。喜びで、喜びで、この思いを伝えています。

私達は愛を流しています。気付きを促しています。私達は田池留吉、アルバートです。ああ、私にはそのように伝わってきます。

肉体細胞に、どうぞ、あなたの思いを向けてみてください。そして、心から、優しい、優しい肉体細胞の思いを感じていってください。

厳しい現実を感じさせていただきました。父の時より、よりいっそう厳しさを感じました。それは、私の意識の世界があの当時よりも、遙かに敏感になっているんですね。私はそのよう感じます。

10年、20年、あっという間に過ぎ去っていきます。

20年学んできて、どれだけ真実を自分の心に広げてきましたか。

20年の学びの年月、どれだけ自分に真実を伝えることができますか。

私は喜び、私は温もり、本当に心から即座に思える人は、どのくらいいるでしょうか。

私は、厳しい現実を目の当たりにして、皆さんにこのようなメッセージを送らざるを得ません。

瞑想をして心を向け、瞬間的に感じる喜び、温もりがなければ、本当に暗闇、真っ暗闇の重い、重い重圧の中に自分を閉ざしていく。それほど、本当の自分を捨て去り、お母さんの温もりを捨て去り、真実の世界を捨て去ってきた意識の世界を抱えて私達は生まれてきました。

どうぞ、皆さん、本当に、お母さんの温もり、お母さんの反省、

どうぞ、そこから本当に始めてください。

私は喜び。私は温もり。私は、田池留吉、アルバートと一つ。言うのは簡単です。しかし、ご自分の現実、真正面からとらえてみてください。

私は、今、そう言わざるを得ません。

厳しい現実を目の当たりにして、しかし、今、肉を持ってできることを精一杯に、本当に真剣に真摯にやっていく以外にはない、私はそう心に感じます。

田池留吉、私は本当にいいお勉強をさせていただきました。いい体験でした。そして、私は、自分を思い瞑想をしました。

自分の学びについて、心から、心の底から私が広げてきた意識の世界、感じてきた意識の世界があります。厳しい現実の体験を踏まえて、私は自分を振り返りました。

自分の中に限りなく広がっていく世界があります。どこまでも広がっていく温もりがあります。これが私の世界だと伝えてくる私を感じます。

私はこの自分をしっかりと信じて、信じて、自分の広げてきた世界をしっかりと見つめています。自分の中で自分を包んでいます。私は喜びの中にあります。温もりの中にあります。私の中に、その思いが広がっていくんです。

何よりも、何よりも本当のことを探してきました。自分に伝えたかった。本当の温もりと喜びを自分に伝えたかった。

私は、この私の思いとともにある自分を感じています。だから、私には、やはり自分を思う時、ありがとうしかないんです。

自分に優しい思いを向けることができる。自分に本当の温もりと喜びを伝えることができる。私は、瞑想をして、何度も、何度も、その自分と出会っています。だから、瞑想が喜びなんです。田池留吉、アルバートを心から呼べる意識の世界が私の現実です。

この意識の世界を抱えて私は存在していける私の道、私の勉強を続けてまいります。

有限の中で、無限の私を感じる。瞑想は本当に喜びです。

温かい、温かい温もり、喜びが私の中にどこまでも広がっていきます。

ありがとうしか出てこない。嬉しい、ありがとう、喜び、そんな思いしか出できません。

心が温かく広がっていくとき、宇宙という思いが心に充満してきます。

宇宙、そう思うだけで私は幸せです。

U F Oが心に響いてきます。少しも恐怖ではありません。それよりも、こうして、今、肉を持たせていただいて、私の中の温もりと喜びに出会えている喜びを、こんなに優しく嬉しく、私の仲間U F Oに伝えることができることがたまらなく嬉しいです。

私は心の底から幸せだと思います。

私は、ただひたすら、自分の道を歩み続けるだけです。

思いを向ければ、もうすでに私の心は確実にとらえる世界があ

ります。だから、淡々と歩み続けることができます。

田池留吉、アルバートの波動の世界を知らない、感じられない、それが唯一の世界であることを知らない、信じられない、それではどんなにしても、絶対にダメなんだ。**程々の幸せ、程々の喜び**なんてあり得ない。

幸せかそうでないか、喜びかそうでないか、それだけです。

波動を感じていけば、自分の中にそうはっきりと出てきます。

本当の自分と出会うために、こうして肉を持って、そして、予定通りに事は遂行し成就に至る。

まだ、20年から30年用意した時間があります。私は、その中で、さらに自分と出会っていく私の勉強が待っています。

今、瞑想をしていく中で、その嬉しい計画を自分の中で推し進めていることを感じ、心からありがとう、嬉しいと出でてきます。

自分を感じる喜びが心に充満し、瞑想が本当にありがたいです。

ゆったりとゆっくりと瞑想をしていこう。そう自分の中から伝わってくる思いに、そうだね、こんなにゆったりと静かな時間があることが嬉しいね、私は私に答えます。

ゆったりと、そして、喜んでお母さんを思う。母なる宇宙に思いを向ける。

幸せな、幸せな時間です。心が広がり、温もりの中に包まれているのが分かります。

瞑想をする時間を出来る限り持ってくださいと、田池留吉、アルバートが伝えてくれたメッセージを私は、喜んで、喜んで、実

践させていただいています。

田池留吉、そしてアルバート、お母さん、そう思うだけで心から溢れてくる喜びです。そんな時間を、たくさん、たくさん持つてくださいと伝えてくれました。**喜びも温もりも尽きることがない**と知りました。思えば、向ければ通じることを知りました。

ああ、**本当の自分に帰れる道**があったんだ、本当に、本当に現実にあったんだ、瞑想をする私の心にそう繰り返し、喜びが伝わってきます。

私は私に誠実に存在していくこと、それが私の喜び。私の幸せ。

長い、長い時間をかけて、こんな幸せな自分と出会ったのだから、私は、この私に誠実に存在していくことだけを、ひたすらやっていくだけです。

私の中にすべてがありました。温もりの自分がありました。本当に優しい自分がありました。温もりの自分、優しい自分です。

肉を持つ人間一人ひとりが、自分の中の優しさと温もりに本当に出会うことができたら、この世の中に争いなど起こりません。

優しくて、優しくて、限りなく優しくて、温もりだけが広がっていく中に、自分があったことを心で本当に知っていったなら、闘いは起こらない。

母の温もりに帰ることだけが、喜びに帰っていくたった一つの道筋でした。

このことが、一人ひとりの心に本当に響いてくるまで、真の平

和は訪れることはありません。それまで、形の世界は崩れて、崩れて崩れ去っていくことだけは確かです。

本当の自分を忘れ去って、それでどんなに力を尽くしても、絶対に幸せになれないことを、自分達に伝えていくんですね。

自らの間違いに気付いていける喜びが私達を待っています。

暗い、真っ暗な波動しか流せなかつたことに心から懺悔する、それなくして、心の中の幸せの扉は開かないことを知っていくのでしょう。

それが意識の流れ。こんな嬉しいことはありません。

私は自分の感じ信じている道を、ただ真っ直ぐに突き進むだけ。

私に示されているものはそれのみ。

肉の私の生活など整つて然るべき。なぜならば、私は、本当の自分が示している道を真っ直ぐに進んでいくために、ここに肉を持っているから。

本当の自分を心に感じ、その自分とともに存在している肉は、必ず幸せと喜びを享受することになる。

こんな簡単なことが、長い、長い間、私には全く分かりませんでした。今世という時間を自分に用意するまで、本当に私はぼんくらでした。目の前に、いいえ、自分というものがもうすでに幸せ、喜びそのものであったことに本当に気付かずにきたぼんくらでした。

今、私は、瞑想をして、本当の自分の思いと触れ感じられる喜

びと幸せの中になります。

真実をどれだけ求めてきたことか、自分をどれだけ求めてきたことか、その深くて、深くて温かい思いが、本当に心に響いてきます。

私はここにいました。ずっといました。私はあなたですよ。私は喜びです。私は温もりです。そして、それがあなたです。そんな思いが、心の中にすうっと染み渡ってきて、本当に何とも言えない中にあることを感じています。

私の肉体細胞が吸収していっている水の意識があります。田池留吉、アルバートがあります。

肉体細胞よ、思いを聞かせてください。波動を伝えてください。

私達は肉体細胞の意識です。

心を見ることを喜びとしているあなたです。田池留吉、アルバートに心を向けていく時間を喜びとしているあなたです。あなたのうちに、田池留吉、アルバートの波動が息づいていることを私達肉体細胞は伝えています。

肉体細胞の喜びをいつも、いつもあなたに伝えています。

心も身体も健やかに過ごしてください。私達は惜しみなく協力させていただきます。

田池留吉、アルバートの波動を伝え続ける私達肉体細胞です。

肉、意識が一つになって、これからあなたの時間が費やされていきます。

田池留吉、アルバートを心から呼び、心を合わせ、ただあなたの中からその波動を遮ることなく、流し続けてください。

肉は流れるままです。私達肉体細胞は喜びで、そのお手伝いをさせていただきます。

肉体細胞の朽ち果てるまで、私達はただただ喜びを伝えます。肉体細胞の惜しみない喜びの波動、あなたの中に伝わっていくことを感じてください。

いつも、いつも私達に心を向け、喜びをともに感じ、田池留吉、アルバートを感じてまいりましょう。

あなたは何も案ずることありません。肉体細胞は健やかに、存在していきます。

少し疲労がたまれば、もちろん、肉体細胞から信号が送られます。それはあなたの身体を、少しゆっくりと休めなさいということです。

私達の思いと同じ波動を流し続けてください。

肉体細胞の思いとともににある喜びを心に感じていけばいくほど、あなたのなかから活力が漲みなぎってまいります。健やかに心も身体も健やかに、そして意識の世界を存分に感じていってください。

喜び、温もり、幸せの世界。田池留吉、アルバート、母なる宇宙へ心を向けられるあなたを私達は喜んで受け入れています。

肉体細胞はあなたの計画を邪魔しません。

私達はあなたの計画の大きな、大きな協力者です。

ともにともに歩いていける肉体細胞です。

私達に心を向け、どうぞ、身体を大切に、そして、あなたの仕事をなさっていってください。あなたの仕事は、心を田池留吉、

アルバートに向け、宇宙に喜びのエネルギーを流し続けることです。

あなたは本当のあなたを心に感じ広げています。その喜びのエネルギーを、ただただ宇宙に流し続けていくんです。

宇宙は待っています。これから次元移行に至る間、宇宙へ、宇宙へ思いを向けていく意識です。

私達肉体細胞は、今、伝えます。

私達の思いとともに、喜びのエネルギーを流し続けてください。

肉体細胞は益々活性化されていきます。

お水を飲むことにより、あなたの肉体細胞は、益々活性化されています。それは、あなたのうちに、田池留吉、アルバートの世界が確立されているからです。

私達を最大限に活用していってください。素晴らしいエネルギー、^{みなぎ}漲るエネルギーをあなたの心から流していくことを私達はお約束いたします。

莫大な真っ黒な闇の世界を抱えてきた私達が、今、学ぶ環境にあることを本当に喜んでいきましょう。

肉を離せば、まず自分を学んでいくことはできないと思ってください。

自分が培ってきた凄まじいエネルギーが怒濤のように押し寄せてくる現実があります。

肉というものが、それをどれだけばやかしているか、今、お母さんと素直に呼べないという状態では、本当に大変だということ

が、それぞれの心で感じてくれれば、もっと、今、学ぶということを真剣にとらえていくと思います。

大変です。意識の世界の凄まじさ、それは大変です。もう固まつていくしかない。それほどのすごいエネルギーが一瞬のうちに覆いかぶさってくる、これは決して大げさなことではないと私は感じています。

だから、今、少なくとも、自分の中にお母さんと呼べば、ありがとうと自然に心が広がっていく状態にまで自分をしていってください。

瞑想は私の元気の源。活力が湧いて出てきます。

田池留吉、アルバートを思い瞑想をすれば、もう心にどんどん温もりが溢れてきます。

本当に幸せです。母の意識の中で私は自分を優しく、優しく呼んでいます。

右も左もなく、ただ真っ暗闇の冷たくて寂しい中に固まっていた自分の世界とは雲泥の差。

今世、肉を持ったから、はっきりとその明暗を学ぶことができました。

私は、今、自分が感じ広げている中へ、どんどん自分を呼び寄せ、自分を感じていける喜び、幸せを学ばせていただいている。

何をするために生まれてきたのかと言えば、**自分を自分で包んでいく術を習得する**ためでした。

私の中に尽きることなくある温もりと優しさで自分を包んでい

く喜び。いつも、いつも田池留吉、アルバートを感じて、本当に喜びと温もりの中にある自分を感じられる喜び。

私は、そこに帰れることを学習させていただきました。

心の針を合わすことができる、最後はこれだけ。瞬時に合わす、これだけ。思えば喜びです。

喜びしかなかった、温もりしかなかった中で、苦しみを作ってきたのは自分を知らなかった愚かな私でした。

愚かな私と決別したのが今世。来世の私は中が完全に違っています。だから、一瞬にして、愚かな薄い肉を捨て去ることができます。捨て去れば、文字通り次元移行一直線。本当に嬉しいです。

私を支えてくれている肉体細胞の思い、その肉体細胞の波動とともに私は存在していける喜び、その喜びを綴ってまいります。

肉体細胞に思いを向けて、私の中に感じる世界を綴ってまいります。

田池留吉、アルバートをしっかりと呼び、私の思いを綴ってまいります。

肉体細胞が語ってきました。

ありがとうございます。ありがとうございます。

私達肉体細胞は、ただひたすら、田池留吉、アルバートとともに存在している喜びを伝えています。どの人の中にもあった喜び、温もりの世界を伝えています。

私達肉体細胞の波動と同じ波動を流してくださいと私達はすべての人に伝えています。しかし、私達に思いを向けてくれる優しい、優しい人は、あまりいません。

自分の身体の調子がおかしくなったとき、肉体細胞に異変が生じたとき、自分の欲で、死にたくない、私は死にたくない、病気から私を救ってくださいという思いばかりが流れています。

私達肉体細胞が病み腐つていけば、目の敵にしてやっつける思いだけが流れています。

私達肉体細胞を切り取り、排除しても、心の中にある闇の部分を自己の中で知らない限り、どこまでも苦しみが続いていくことを知っている人は殆どいません。

私達肉体細胞はそれを伝えたくて、私達は色々な形でメッセージを送ります。それがいわゆる病という形で、その人の身体に現れていくんです。

しかし、私達のこの思い、私達の喜びの思いを喜びとして受け入れてくれるのは、ほんの僅かです。

みんな、みんな私達を邪魔者、厄介者として排除しようと、本当に目の敵として、私達を切り取り切り捨てます。その冷たい心を見てくださいと私達肉体細胞は伝えているのです。

しかし、すべてが闇の中にあったところからは、私達肉体細胞のこの波動は、なかなか、なかなか受け入れてもらえませんでした。

だから、私達はあなたに伝えます。

私達肉体細胞の喜びを感じ、そして、ともに歩いていける喜びを感じ伝えてくれたあなたに伝えます。

私達の存在をもっと、もっと伝えてください。

あなたの心から流れる波動を乗せて、私達肉体細胞の思いを伝えてください。

私達肉体細胞は、ただただ喜びを伝えているんです。苦しみを伝えているのではありません。

気付いてくださいと喜びのメッセージを送っています。肉体細胞の思いを感じていってくださいと、あなたから伝えてください。

私は、心の中に田池留吉、アルバートの思いを感じています。肉体細胞を思うとき、ありがとうございます、ありがとうございますと、ありがとうございますと、ありがとうございますとしか返ってきません。

このありがとうございますの思いを心に広げながら、私は日々の生活を続けています。

すべてが喜びの中にありました。

ただ、喜びを、苦しみ、辛さ、悲しみその他の諸々の闇の思いでしか受け止められなかった自分の心の貧しさがあっただけです。自分の心の貧しさです。私は、それをしっかりと学んできました。

自分を小さくとらえ、または大きくとらえ、本当に愚かなエネルギーをたくさん流し続けてきました。

しかし、どんな転生の時でも、私の肉体細胞は私をしっかりと支えてくれていました。

いつも、優しくて温かくて本当にありがとうと、私を支えてくれていたのです。

この思いは母の思いでした。

母の意識に歯向かい、背いて蔑ろにしてきた私にも、変わること

となく、優しさと温もり、喜びを伝え続けてくれました。

肉体細胞の波動は、母の波動です。

肉体細胞を思い、瞑想をすれば、長い、長い間、凄まじいエネルギーを垂れ流してきた私の心をつぶさに感じます。

私は今、元気に過ごさせていただいている。

肉体細胞の愛を感じ、ただ私は自分を振り返り、今、心から肉体細胞にありがとうございます。

田池留吉、アルバートを伝えてくれた肉体細胞とともに存在している私だった喜びを心に受けています。

肉体細胞は、一番身近な宇宙です。小宇宙です。

宇宙に心を向け、自分の中の宇宙を感じてくださいと言われても、ほとんどピンとこない人でも、自分の肉体細胞を思ってみてくださいということになれば、何となく素直に思えると思います。

誰の肉体細胞でもない、あなたの肉体細胞です。あなた自身です。

その肉体細胞にどんなに冷たい思いを流してきたか、肉体細胞の思いを心に感じていけばいくほど、自分の冷たさ、傲慢さが分かってくると思います。

肉を持っている時でしか、自分を感じ自分に伝えることができない現実を私は伝えました。肉を離して、田池留吉、アルバートと呼べるのは殆ど難しいです。

肉を離せば、怒涛のように押し寄せてくるエネルギーがあります。自らが培ってきたエネルギーです。肉体細胞とともにある今、そのエネルギーから少しでも自分を解き放してください。

肉体細胞は、最後の最後まで付き合ってくれます。

生き長らえるだけが幸せなことではありません。少しでも自分を包んでいく術を学んで、肉体細胞とさようならをしていきましょう。「ありがとうございました」の思いだけで、さようならをしていきましょう。

100%あり得ないことを思ってみてもどうなるものでもないけれど、今の私の状態を思うにつけ、もし学びと出会っていなければと思うだけでぞっとなります。

肉、肉で固まつたまま生きて、それで一応の幸せとか喜びを感じて、もちろん悲しいことや辛いこともあって、しかし、肉のまま固まつた状態で、人生を閉じていってそれで終わりでした。

そんな状態で、また肉を持ったとしても、固まつた私は依然としてそこにそのままあるだけでした。

今という時間、私は自分の中を学ばせていただいて、そんな転生の繰り返しをして、自分を本当に粗末に扱ってきたことを感じてきました。

しかし、学びとの出会いがあって、ただ空しい時間が流れしていく、空しくて砂を噛むような時間をただ流していく、その繰り返しを止めることができて本当によかったです。

なぜ肉を自分に用意してきたか、本当に私は粗末に扱ってきた自分から教えられてきました。自分を知ってくれと叫んだ自分の切実な思いが心に響いてくる絶好のチャンスをいただきました。眞実の世界から、田池留吉という肉がやってきたからです。意識

の流れが現象化して、私の意識の世界に届きました。本当に嬉しいというか、ありがたい、千載一遇のチャンスでした。自分を蘇らせることができた、自分を取り戻すことができたのです。だから、あとは、意識の流れにありがとうと応えていくだけです。

意識の流れにありがとうと応えていく、応えていける今の自分の状態に私は大満足しています。私の心は満たされています。自分の外に私を満たすものなど全くなかったことに出会わせていただきました。

自分の外に色々なものを求めてきたことが、私の最大の不幸でした。

それが私は自分の心で分かったのです。

私の中、私がすでにすべてに満たされていることに出会いました。

田池留吉、アルバートの世界は私の本当に出会いたい自分の世界でした。その自分の世界に帰ろうと自分が自分に呼びかけている意識の世界、その世界だけが私にとって唯一の真実でした。

ただし、肉は本当に下らないです。ただ、私は自分の意識の世界を感じているから、そして、その世界がこれからどのように存在していくか感じているから、下らない肉に一喜一憂はしません。肉のことはサラリと流します。流せます。流していくことができずに、つかまえてつかんで苦しむことは、私にはもうありません。

一時、心の揺れはあっても、私は私の中にすうっと戻れて、そしてその後は、また自分の本来の道を歩んでいけるリズムの中に

あります。

このリズム、正確に刻んでいくリズムの中で、私は、自分をただただ見つめていくだけです。

このリズムこそ、母のお腹の中で感じてきたリズムでした。母なる宇宙からのリズムでした。このリズムが心に聞こえている限り、私は、もう自分を見失うことはありません。それが確信できたから、私は大満足です。

自然治癒力が語ってきます。

心の中に、田池留吉、アルバートの世界を広げ、自然治癒力に心を向けなさいと語ってきます。私の中に喜びが膨れ上がってきます。

自然治癒力とは、私そのものです。喜びを文字に表してくださいと語ってきます。そうです、自然治癒力とは喜びのエネルギー。

私はその自然治癒力のエネルギーをしっかりと心に感じています。

私の肉体細胞が活性化されていく喜び、その喜びを心に感じ、私はこの自然治癒力を皆さんにお伝えしたいです。思いを届けたいです。

田池留吉、アルバートの世界を届けたいです。

私の中に自然治癒力が蘇り、そのエネルギー、喜びのパワーが肉体細胞に作用していくその様を感じ、私は田池留吉、アルバートの世界をさらに深めていきます。

私の勉強です。ありがとうございます。心を田池留吉、アルバ

ート、お母さん、そして、宇宙に向ける私の喜び、心に感じています。

心を向ければ、私の中は広がっていきます。

肉の私とは本当に違っていました。心の世界、意識の世界、これが私でした。

今、瞑想をして、心を向け、心の針を合わせて、私は私を感じています。とても嬉しいです。ありがとうございます。

もし、私がこの学びに集えていなかつたら、今頃は私の肉体細胞にも大きな変調が生じているでしょう。

学びに集え、自分なりに心を見つめ、自分の流してきたエネルギーを確認してきたから、私が気付かないうちに、肉体細胞は活性化されていったんだと思います。

私の肉体細胞には今現在、何も変調はございません。元気に活動してくれています。

もちろん、たくさんのエネルギーを感じます。たくさんのエネルギーを引き寄せ、私の中にたくさんのエネルギーを感じています。しかし、そのエネルギーを私は喜びのエネルギーに変えています。温かい優しい思いで、私はそれらのエネルギーを包んでいらっしゃることを感じています。

肉体細胞は、その作業に本当に協力してくれています。肉体細胞が滞りなく働いてくれているから、私の自己供養の作業は捲り、喜びをさらに大きくしていけるんですね。

今の状態で、田池留吉、アルバートに心の針をしっかりと向け

て、私は喜びのエネルギーを肉体細胞とともに宇宙へ流してまいります。

私の肉体細胞は喜びで、喜びで存在していけることを伝えてくれます。そして、病気をマイナスとしてとらえる心を、どうぞ、見つめていってくださいと伝わってきます。

病は喜びのエネルギーでした。心の中からそのように伝わってきます。

病はマイナスのエネルギーではなく、喜び、プラスのエネルギーであることを、あなたのなかから伝えていきなさいと肉体細胞が教えてくれました。田池留吉、アルバート、ありがとうございます。心の針をしっかりと合わせて、喜びを伝えてまいります。

病気をマイナスのエネルギーとしてではなく、プラス、喜びのエネルギーとして本当に心で知っていく喜びは、この学びからすればほんの第一歩です。

田池留吉、アルバートの世界は、そういう次元に留まっている世界ではないことは、瞑想を重ね、自己供養を重ねていけば、心に感じられることです。

しかし、その第一歩でさえ、なかなか踏み出していけない心、他力の心がドーンと控えているのが現実です。

それでも、今、肉を持って、この学びに集えた以上、そのドーンと控えている他力の世界をほんの少しでも崩していくことが、自分に対する最大の優しさです。

自分から流し続けてきたブラックのエネルギーを、ほんの少し

ずっとでも回収し、本来あったエネルギーに戻していく道を、一步、一步歩んでいくことが、本当に待ち望まれているのです。

その道が見えず、さ迷い続けている現実を、はっきりと知つて、いくために、これから的时间が用意されています。

私達人間はどうなっていくのだろうか、この地球はどうなっていくのだろうか、心の中に湧き起こってくる思いをそれぞれが真向かいから受け止めて、自分の中で答えを引き出していかなければならぬでしよう。

これから転生の時間は、本当にすごいです。すごくて、しかし、本当に大切な時間。そこに思いを馳せながら、今世の学びを続けていってください。

出会いをありがとう。本当にありがとう。

私の中のたくさんの私は、そう言って喜んでいます。

「一つの肉を通して、ようやく、ようやく、私達は自分を知りました。本当に温かい優しい温もりの中にあった私達を知りました。

あなたが、田池留吉、アルバートと心を向けてくれれば、私達の中にも、その波動が伝わってきます。

あなたが、いっしょに帰ろうと、帰ろうと呼びかけてくれるこゝが、本当に嬉しいです。

私達は、そのいざないに心を向けています。

だから、ありがとう、ありがとう、本当にありがとう、出会ってくれてありがとうと言わずにはいられないのです。」

日々、心を合わせていけば、私の中に確かに広がっていく波動の世界を感じます。

田池留吉、アルバートと自然に思っています。心が広がっていきます。穏やかに温かく、ただただ優しく喜びがすうっと広がっていきます。

安心です。嬉しいです。ありがとうございます。

私は**私を学ぶ**ために、今ここにこうしてすべてを整えて存在していることに、本当にありがとうございます。

自分を学ぶ、自分を学ばせていただける時間と空間、それは、本当に限りない私の優しさです。

そんな中にずっと私は存在していたんだと、瞑想をするたびに心に感じています。

私は、私自身を本当に心に感じているから、そして、それが私だと知っているから、私は、もうずっと安定飛行の中になります。

心の揺れを吸収して、さらに私は私の世界を進んでいくだけなんだと思っています。

自分の肉の時間を、私は、楽しみながら、自分の予定通り滞りなく進んでいきます。

意識の流れの中に永遠に存在している自分自身を感じ、私は、この肉とともにあることを楽しんで喜んでいくでしょう

心に田池留吉を呼びます。アルバートを呼びます。

どこまでも広がっていく温もりの中で、ただありがとうだけが返ってきます。ただありがとうと、心からありがとうと返ってきます。

本当に嬉しいです。言葉も何も要らない。何もない。だけど、広がっていく私の心。温かい温もりの中に優しさが限りない優しさが広がっていきます。

懐かしい。ありがとう、嬉しい、喜び。汗と涙でくちゃくちゃになっていたあの頃のセミナーの時間が懐かしく思い出されます。

よかった、よかった、本当によかったね。本当に温もりと優しさの中にあったあなたに出会えて本当によかったね。もっと、優しくなってください。もっと、優しくなれるんですよ。

はい。ただ、はいと言ってまた淡々と自分の道を歩んでいける幸せ。田池留吉、アルバートの波動を感じ、心に広げ、そして私は、ただ前を向いて、真っ直ぐに進み続けます。

田池留吉、出会いをありがとう。本当にありがとう。心からありがとう。私は幸せです。波動を感じ、幸せ、安らぎが心に広がっていきます。

自然治癒力は、すべてを生かす喜びのエネルギー、パワー。

そして、この喜びのエネルギー、パワーこそが私達の本当の姿。

私達が本当に自分の心を見ていくれば、自分達の本当の姿を心で知っていくことができます。

本当の自分達がいかなる存在であるのか心で感じていくことが

できます。そして、その世界はここまでという区切りがあるわけではありません。

どんどんどんどん限りなく広がっていく世界です。

また、ただ広がっていくだけではなくて、そこには何とも言えない安らぎ、温もり、優しさが溢れているのです。

そんな世界が実は自分の世界だった、それが私だったと本当に心で感じ知っていくことが、私達の生まれてきた目的です。

ただし、その目的を遂行していくことは大変難しいことなんです。

なぜならば、私達は、気の遠くなるような長い間、自分を見失ってきたからです。それは、千年、万年どころではありません。

私達は、自分を見失ってきたんです。本当の自分を知らずにきたんです。

本当の自分を見失って、ずっと暗闇の真っ暗闇の中で苦しみ喘ぎ続けてきたのが私達だったんです。

しかし、今現在、そんなことに、殆ど誰も納得できるはずはありません。頷けるはずはありません。

ただ、今はそうであっても、これからは、納得せざるを得ない、頷かざるを得ない状況になってくるんです。

そこで、私は、自然治癒力というのは、ただ単に私達の身体や心を回復させて、元気にさせる力という狭い世界のものではありません。とまず結論付けて、もっと広く、大きく自然治癒力の世界を知っていきましょうという思いを込めて、書き進めていくことにします。

そもそも、五官を持って生まってきた私達は、当然その五官から入ってくる情報を中心にして生活をしていきます。つまりは、目に見え、耳に聞こえて触れるができる形の世界の中で、いかに豊かで快適で実りある時間としていくか、そのところに腐心していくんです。そういう時間を長く過ごせることが、自分達人間の幸せと喜びに繋がっていくことだと思っているからです。

自然治癒力というのもまた、そのような延長線上でしか理解されていないでしょう。つまりは、自分達の身体や心を自然に治癒させていく力が自然治癒力だ。そして、それは、人間のみならず、動物、植物、生きとし生けるものすべてに、もともと備わっているものなんだ。さらに、私達はその自然治癒力を向上させていけば、人間は益々元気になるだろう。だから、こうしたらしい、ああしたらしいという研究開発が、様々な分野で続けられるべきだ。こういう具合でしょう。

これらはみんな五官中心の物の見方、考え方です。だから、自然治癒力そのものよりも、それを向上させるために自然治癒力に着目して、注目していくだけです。自然治癒力の思いを心で感じることはしません。それよりも、自分達の頭脳、技術力を駆使していこうということです。それでも、様々な試みを通して、ある程度、功を奏していくでしょう。ただ、そこから先の自然治癒力の世界を知っていくことは、五官中心の世界からは不可能なんです。しかし、実は、そこから先の自然治癒力の世界を知っていくことこそが、大切なことであり、私達には、どうしても必要なことなんです。そうすることが、私達に本当の幸せと喜びをもたらしてくれることだからです。

私達に本当の幸せと喜びをもたらしてくれるというのは、本当の自分との出会いが現実のものなっていくということです。本当の自分と出会えれば、幸せも喜びも、すでに自分の中にあったことをはっきりと感じていくんです。

自然治癒力の本当の世界を知っていくということは、本当の自分と出会っていくことになります。本当の自分は、幸せ、喜びだったことを自然治癒力を通して知っていけるんです。

ところで、では、もともと幸せ、喜びの中にあった私達が、なぜ幸せを求め、喜びを求め、悪戦苦闘してきたのでしょうか。

「生きていくのは大変だ。人生、山あり、谷あり。禍福は糾あざなえる縄のごとし。人生は苦だ。」

なぜ、そのような言葉があるのでしょうか。そして、なぜそのような表現が、世の中で一応の評価を得てきたのでしょうか。

それは、私達は、誰もがみんな、本当のことを知らずに、今までやってきたからです。

みんな本当のことを知らないから、人間とはこういうものだ、人生とはこういうものだと誰かが言えば、なるほど、なるほどその通りだ、よく言ったものだという風になっていくんです。

みんな同じ土壌から、人間を考え、人生を考えて、そして幸せや喜び、悲しみ、苦しみなどが織り交ざった中で生きて、そして死んでいきました。それを一言で言えば、五官中心、形中心の中にずっとあったということです。そして、また、今もあるということです。

その五官中心、形中心の物の見方、考え方を自分の中から変え

ていくことが待たれているのです。

自分の中というのは、自分の心、意識の世界を言います。

頭の中を切り替えるのではなくて、自分の心、自分の意識の世界を切り替えることが待たれているというわけです。

それには、自分の心を見る以外に方法はないというわけです。

しかし、人間は心を見てきませんでした。心を見ることを知りませんでした。

だから、ずっと悪戦苦闘してきたし、これからもそれは続いていきます。

そもそも、五官中心の形の世界の中で作り上げた幸せ、喜びの形。それは千差万別です。

しかし、共通しているところがあります。それは、形の世界が崩れていけば、その幸せ、喜びの形も崩壊していくことです。

形の世界は一瞬にして崩れ去ることはあり得ます。

そうすれば、一瞬にして、自分達の作ってきた幸せ、喜びの形も崩れていくんです。

そうなれば、あなたの心はどのような思いを吐露とろしていくでしょうか。

あなたが信じてきた幸せ、喜びの形が崩れていったとき、果たして、それでもあなたは、幸せだ、喜びだと心から思えるでしょうか。

あなたが感じてきた幸せ、喜びは、形があったからではないのでしょうか。

もっと言えば、形に、あなたは幸せを、喜びを感じてきたので

はないでしょうか。

そこのところを本当に考えてほしいんです。

たとえば、自分の周りの風景が一瞬にして崩れ去っていくという場面に遭遇したとき、やらなければならぬことは目の前に山積しているでしょう。確かに、気を取り直して、元気を出して、勇気をもらって頑張ろうと前向きに生きていかなければ何も始まらないと思います。

明けない夜はない、やまない雨はない、陽はまた昇るといった格言を心に刻んで、もう一度立ち上がっていこうとする一方で、だからこそ、今、上記のようなことを真剣に考えるべき時期に来ているのではないかと、私は申し上げたいです。

五官を使って自分の心を見るということが本来の姿なんですが、そんなことは、学びに参加した私達のように、誰かに教えていただかなければ、なかなか分からぬです。いいえ、決して分からないでしょう。

だから、**心を見なさい、見てごらんなさい。**と伝えていただいたこと自体、どんなにありがたいことなのか、どんなに優しいことなのか。

私はそう思っています。心を見るなどを知らなかつたら、私は今頃まだまだ、苦しみの奥深くに沈み込んでしまっている状態だったでしょう。

私の意識の世界はもちろんそのような状態だっただろうし、もちろん、それは、自分の身体にも表れてしまっていたと思います。

かろうじて、私は、自分の心を見る、自分の出してきたエネルギーを知って、それを自分の中で本来のエネルギーに戻していく術を知ったので、本当に崖っぷちセーフのところから、今は、自然治癒力とは、すべてを生かす喜びのエネルギー、パワーだと自分の心で知るまでにならせていただきました。

それは、私の意識の世界がきちんと、田池留吉の世界という真実の波動の世界をとらえているからです。

私自身、自然治癒力に思いを向ければ、田池留吉の世界から喜びの力強いメッセージが感じられます。それはもちろん波動です。

そして、心に感じた自然治癒力の喜びを素直に、あなたの心から流してくださいというメッセージが来るんです。

セミナーの時間と空間をいただき、本当にありがとうございました。

こうして、今世、ともに肉を持って、田池留吉、アルバートの世界を学ばせていただけたことが、本当に嬉しいです。

今回も、私自身は、本当に自分の学びをさせていただくチャンスに恵まれ、こんな幸せなことはないとしみじみ思っています。

瞑想の時間をたくさん作っていただきありがとうございます。

その喜びと幸せもさることながら、私には、やはり、あのトントンツーツツーのリズムの中で心を向けられる喜びが何とも言えないものがあります。

懐かしい、懐かしいふるさとへ帰れる、あの宇宙へ帰れる、私の心の中で本当にその思いが流れていき、自然と涙が頬を伝いま

す。

私の幸せな時間です。優しい母の思いが心に届きます。ありがとう、ありがとう、お母さん、ありがとう。私は私とともに帰ります。

私は私の中の宇宙達とともに、母なる宇宙へ帰れることが嬉しくて、嬉しくて……、表現すればこんな感じ。

田池留吉の指先に心を向けた瞬間、そんな思いが飛び出てきて、異語となり、ああ、私達は帰れるんだ、帰ろう、帰ろうと宇宙達に呼びかけていけることが本当に嬉しかったです。

今、目を閉じて、その瞬間に心を合わせる。

私は幸せでした。ともに帰れる喜び、そして、ともに歩いていける喜びを、本当に今、一つの肉を持って、私は私の中に伝えることができる事が、本当に嬉しかったです。

田池留吉、アルバートと固い、固い握手をしたような感覚、ともに歩んでいる、ともに存在している感覚、その喜びの波動、喜びのエネルギーが、私の中を本当に何も遮ることなく、流れています。

歯向かって、歯向かって、闘い挑んできた意識の世界の変貌が私の中の大きな、大きな一步。それが今世でした。

だから、これから300年、自分の中の宇宙達に、ともに帰れるということを、喜びで力強く伝えることができる、こんな嬉しいことはありません。

磁場を活用した治療方法が今、研究中だということです。磁場に思いを向けてみます。磁場を使って治療をする、その方向に思を向け、磁場を思います。

磁場はエネルギーです。磁場を活用して治療を行っていく。その発想、それは正しい方向に、そのエネルギーを使っていけば、もちろんいい結果が生まれてきます。

従来の医学の世界を根底から揺るがすような研究発表がなされる可能性が高いと思います。

しかし、そこには必ずそれに携わる人間達の思いがあります。その思い、エネルギーがそこに加味されていくんです。

そういう研究をする人達の意識、エネルギーですね。それが、そこにプラスされていきます。だから、本来の磁場を100%活用して治療を行うということは不可能です。

その人達が意識の転回を進めながら、そして、その研究の成果を発表し、それを活用するという方向に行くならば、話は別ですが、それはほぼ100%不可能です。

そういうことは、少し横に置いて、磁場というところに思いを集中させてみます。

磁場は、本来はプラスマイナスゼロの何もない喜びのエネルギーです。

本来の磁場の世界は、喜び、喜びのエネルギー、喜びのパワーです。ただただそれなんです。

私達が本当の喜びの世界に目覚め、その世界にあった自分達を心に思い起こせば、自分達が磁場なんです。自分達の中に、プラスマイナスゼロの世界、つまり磁場があるんです。

私達は、すでにその喜びのエネルギーの中にあります。喜びのエネルギーが私達なんです。

磁場というのは作り出されるものではありません。私達本来のエネルギーです。ですから、意識の転回が進み、100%自分が意識である、喜びのエネルギーであるとした意識が磁場というエネルギーを流します。

喜びのエネルギーが元あった状態に戻していき、喜びのパワーを発散させていきます。

流れているんです。喜びの中で、喜びのパワーが流れている。ただただ喜びのパワーが生み出されていく。限りなく無限に生み出されていくパワー。それが本来の磁場。

そういうことでしょう。

人間達が研究に研究を重ね、その結果、病気の治療に成功したとしても、それは完全なるものではありません。

なぜならば、100%純粋ではないからです。所詮人間達が作り上げた世界。本来の喜びのエネルギー、本来あった喜びのエネルギーが不純物を交えて不完全な状態なのに、それを完全だとしてしまう人間達の心の世界です。

しかし、確かに、磁場、エネルギー、そのエネルギーが本来の仕事をしていくという考え方。それは、その通りだと思います。

磁場を活用して、色々なところで研究され、またその成果が出ていることも確かなようです。

それが、目に見える形で公に示されていけば、医学界も飛躍的な発展をしていくだろうと思います。治療方法が全く変わってきます。

将来的には、私達の身体、肉体細胞にも過重な負担をかけない治療方法に移行していくと思います。その研究速度が、これからさらに加速されていくでしょう。それはそれで、喜ばしいことだと思います。

しかし、私達人間には、100%純粹で完全な磁場を活用することは不可能だと前に書きました。

それを可能にするには、私達の意識を変えていかなければならないのです。

私達から流れる波動と、磁場の波動とが全く同じでなければなりません。

つまり、私達から流れ出る波動を本来の波動に変えていく必要があるのです。

磁場はエネルギー、パワーです。本来喜びのエネルギーでありパワーです。

しかしながら、殆どの人は、この喜びのエネルギー、パワーを自分の中で遮ってしまうというか、そのエネルギー、パワーと自分の中で一つになれないのです。

それは自分達の中に、遮ってしまう、あるいは、一つになれないエネルギー、パワーを作ってしまったからです。だから、本来は完全なものだったのが、人を介することにより、不完全なもの

になってしまうのです。

それは、質が変わるということではなくて、弱まる、薄れると
いうことだと思います。だから、ある程度の効果は見込まれるが、
決して完全なものではないのです。

本来あるべき磁場のエネルギー、パワーを完全な状態で活用し
ていくためには、自分から流れるエネルギーを知り、それを本来
のエネルギーに戻していく作業が必要となります。

自分の心の針を正しい方向に合わせて、磁場のエネルギーと一
体化することが必要なんです。

では、心の針とは何か。正しい方向とはどの方向か。

そういうことにまで研究が広がっていかなければ、本当に成果
ある研究だとは、とても言えないと思います。

今、私は自然治癒力とか磁場のほうに思いを向けて、私の勉強
をさせていただいている。

その中で感じることは、**自然治癒力**も**磁場**も**肉体細胞**も、ただ
一つの方向を私に示しているだけだということです。

すべては、田池留吉、アルバートの世界なんです。言葉は違う
けれど、私には、田池留吉、アルバートの世界のエネルギーなん
です。

田池留吉、アルバートの世界の中の自然治癒力であり、磁場で
あり、肉体細胞です。みんな私の中では一つなんです。

だから、心を向ければ、ただただ喜びのエネルギーを感じます。
温もりと優しさを感じます。

それらを通して、田池留吉、アルバートの世界に心を合わせられる、一つを感じられる喜びだけが、私の心に広がっていくんです。

私は、おそらく死ぬまで元気です。死ぬまで大病は患わないでしょ。次元移行の意識の流れの中で、今、肉を持って何をすべきか知っているからです。それは肉体細胞の思いと同じだからです。肉体細胞があるときは、その思いとともに存在していくからです。

田池留吉の世界に心を向けて、合わせて、委ねる瞑想ができる。心から、田池留吉、アルバートを呼べる。温もりと喜びと安らぎの中にある私を感じることができる。

肉体細胞とともにある今、肉体細胞とともに喜びを感じる時間を持つことができる幸せです。

トントントンツーツツー、トンツーツツー……。

優しさと温もり、広がる喜びの中で、ともにある幸せ。ともにある嬉しさ。

目を閉じて思うことは、田池留吉、アルバートの世界。

心も身体も伸び伸びと、そして、ゆったりとした静かな時間が充分に取れる、このような環境を自分に用意できることが、まず幸せの第一歩でしょう。

瞑想の時間を長く持てることに越したことはありませんが、義務とか欲とかそういうものは一切なく、ただ喜んでできる自分の心の状態が何よりも大切だと思います。

そして、自然にふうっと向いている、自分の中に向ければ、ふ

うっと温もりと喜びが上がってくる、そんな短い瞑想もまた、日常の至るところでできる、そういう中に自分のこの肉を置いていると感じていれば幸せだと思います。

私のエネルギーの向け先は、自分の中。自分の中の宇宙とともに、田池留吉、アルバートを思える。一つになって宇宙を思える。こんな瞑想の時間を、繰り返し、繰り返し、そして深く、深く持っていくことが、私の喜びです。

その後のことは、適当に流し、適当に楽しんでいます。

自分で決意してきたことだから、私は可能な限り、自分の勉強をして肉を置きます。

瞑想を重ねていくごとに、その思いが益々強くなります。

日々の生活は、引っかかることなく、すうっと流れていけばそれで万々歳です。

また、引っかかることがあれば、自分の心を見ればいいだけです。見ていく中で、自分に問い合わせ、答えていけば、ああ、何ということもなかった。やっぱり、肉はおバカさんだった。というところに落ち着きます。

そうなるまでに、そんなに時間は要しません。

肉のことで、無駄なエネルギーは使いたくはない。私はもうそんなに若くもないし、来世の肉の時間と思う時、今、肉を持っている今がとても大切なんだと感じているからです。

まだまだ、この肉を持って学んでいかなければならぬことがあります。

田池留吉の肉があるうちに、私の肉があるうちに、瞑想を重ね、自分の宇宙をどんどん知っていくことです。田池留吉、アルバートを感じていくことです。

つまり、瞑想です。肉を通して瞑想をする。この時間というか、この密度を増して深めていくことが、私の喜びだと感じています。

自然治癒力は、すべてを生かす喜びのエネルギー、パワーという風に表現しましたが、このエネルギーとかパワーというのを、どのように理解していくかがとても大切なことなんです。

たとえば、「ここには、すごいエネルギーが流れている」「すごいパワーを感じる」「波動を送っています」「気が集まるところ」。

こういう風なことは、今までどこかで聞いたことがあると思います。

「エネルギー」、「パワー」、「波動」、「気」。

「気」という言葉は、「田池留吉の世界」ではなじみがありませんが、「エネルギー」、「パワー」、「波動」という言葉はよく使っています。

そこで、今までどこかで聞いたことがある言葉、あるいは自分が使っていたこれらの言葉と、そして、「田池留吉の世界」から発せられる言葉。

両者にどんな違いがあるのでしょうか。それとも言葉が同じだから違いはないと思いますか。

結論から言えば、全く違うということです。言葉が同じであつ

ても中身は同じではないんです。

なぜそんなことが言えるのかと言えば、そのポイントとなるのは、あなたの基盤がどこにあるかということです。

もっと簡単に言うならば、あなたは、人間を形あるものだと思っていますか。それとも、形のないものだと思っていますかということです。

「死んだ人は別として、今、生きている人は、みんな肉体を持っている。肉体があるから生きているということでしょう。現に目に見えているではないですか。形がないって、まさか、透明人間でもあるまいし。」

このように思っている人は、肉（形：目に見える世界）が基盤なんです。

殆どの人は、そう思っていると思います。肉（形：目に見える世界）を中心として、物を見て、考えて、生活をしています。

つまり、世間というか、この世の中は、形（目に見える世界）を中心とした物の見方、考え方の上に成り立っています。

その最たるもののが、私達人間を形あるものとしてとらえている、いいえ、形あるものとしてしかとらえられないことです。

自分達の本当の姿を知らずに、自分はこの顔や頭、手や足、胴体を指して自分だとしているのが私達人間です。

このことを、別の表現をすれば、「肉が自分だと思っている」ということなんです。

その「肉が自分だと思っている」という思いを基盤として、今、この世の中すべてが動いています。つまり、世の中は、形を中心とした基盤の上にあります。

政治も経済も教育、科学、文化、医学の世界、その他すべてがそこを基盤として動いています。宗教の世界さえも、実はそうなんです。

そういう中で、「ここには、すごいエネルギーが流れている」「すごいパワーを感じる」「波動を送っています」「気が集まるところ」と言っているのです。当然に、肉（形：目に見える世界）が基盤です。

その基盤の上で、「エネルギー」、「パワー」、「波動」、「気」といった目に見えないものを感じているということです。

しかし、どこで感じているのかと言えば、心です。心は目に見えないものであり、その心で感じているのだから、感じているものは目に見えない世界だ……ということかもしれません、その人の基盤が肉（形：目に見える世界）にあれば、当然、その心のとらえ方も、形中心ということになります。

ということは、その心でとらえた目に見えない世界の基盤もまた肉なんです。たとえ、目に見えないエネルギー、パワーの世界だといっても、その世界の基盤は肉です。

肉が基盤の心のとらえ方というのは、「自分の肉体がなくなれば、心も消える」と思っていることがあります。

肉が基盤ならば、肉体がなくなれば、心も消えて当たり前です。

なぜならば、心は、自分のこの身体の中にあると思っているからです。

胸の中か、頭の中にでもあると思っているのです。それが肉を基盤とした発想です。

そもそも、そこからがすでに違っているのですが、それはよく分からぬでしよう。

ただ、心というものは、そんな胸の中や頭の中に納まるような小さな物ではないということだけ知っておいていただければと思います。

自然治癒力は、すべてを生かす喜びのエネルギー、パワーだというところから、「基盤」という話になりましたが、この基盤ということがとても大切なんです。要するに、基盤が違えば、中身が全く違うということを知ってください。

書かせていただいたように、今の世の中は、肉（形）を基盤として回っています。一人ひとりの人間が、自分を肉（形）だと思って生活をしています。

そのような世の中の流れの中で、田池留吉氏は、「私達人間は、本当は、目に見えないもので、形はなく、しかし、波動、エネルギーとして存在しています」と、はっきりと語っています。

そして、「あなたの基盤を変えてください。変えていけるようあなたであってください」とメッセージを発信してくれています。

私は、そのメッセージを発信してくれた田池留吉氏を通して感じていくことができる「田池留吉の世界」に触れていっていただきたいと思ってきました。

それは、「田池留吉の世界」が、ただ一つの真実の世界であることが、心で分かったからです。

真実を探し続けてきた私の中に、田池留吉氏は、真っ直ぐに伝えてくれました。それは言葉ではありませんでした。私は、田池

留吉氏の言葉に納得してきたのではありませんでした。

しかし、私の心の世界、私の意識の世界、つまり私自身がそうだと納得できたのです。頭で納得したのではありませんでした。

肉が自分だと思ってきた私には、幸せや喜びや優しさ、嬉しさ、楽しさ、豊かさなどすべては、形で示されて初めて信じられるものでした。

また、その人から、エネルギー・パワーやといったものを感じるといつても、私の場合は、その人の動作、態度、身のこなし方、言葉遣いなどから、そういうものを感じていたに過ぎなかったと思います。そして、それを、今思えば、エネルギー・パワーハリスあるいはパワフルといったとらえ方をしていたのです。まさに肉そのものでした。

そんな肉で凝り固まっていた私の中を緩ませるというか、溶かしていった本物のエネルギー・パワーの世界は、母の温もりでした。そして、それが「田池留吉の世界」だと私は申し上げたいのです。

「田池留吉の世界」に心を向けていけば、私達は初めから幸せだった、喜びだった、そして温もりだったことが、はっきりとします。

「母の反省、瞑想を通して、母の温もりを知ることがすべてです。母の温もりを知らない人は人間ではありません」その通りでした。

「田池留吉の世界」に心を向けることしか、本物のエネルギーもパワーも分からぬということなんです。もちろん、自然治癒力の世界もそうです。

「田池留吉の世界」を知らない人に、本当は自然治癒力の世界は分からないです。分からぬのに、自然治癒力を高めて、元気になろうと言っているんだから、無知とは恐ろしいものだと思います。

ところで、世の中には、私のように鈍感な人もいれば、心が敏感で、エネルギーやパワーといった目に見えない世界を感じて、すごいなあ、素晴らしいなあと、益々そのほうに心を向けていく人もたくさんおられるでしょう。

その人達は、「エネルギー」、「パワー」、「波動」、「気」といった世界をもっと知りたい、感じたいといったところかもしれません、それはおやめになったほうがいいというのが私の考えです。

基盤のことと思い出してください。そして、母の温もりというのも、キーワードです。

実は、目に見えないものを感じることはすごいことだとか、素晴らしいことだとかではないんです。逆に危険な場合が往々にしてあります。

それは、みんな、エネルギーを、パワーを、自分の外に求めていこうとする思いを確認しないままだからです。確認しないまま、もっと感じていこうとのめり込んでしまうと、本当に危険なんです。やがてどこかで必ずおかしくなっていきます。

そういう危険が、自分達の周りにはたくさんあると思っておいたほうがいいでしょう。

また、肉が基盤だということは、その心の中には、凄まじい欲

が渦巻いているのです。

だから、「目に見えない世界を自分は感じている。その世界は確かにある。それをこういう風に活用していけばいいんだ。そして、みんなが元気になって、幸せになっていけばいいんだ」というところから始まって、「元気にしてください。元気にしてあげましょう。幸せしてください。幸せにしてあげましょう」というところまでなるのに、あまり時間はかかりません。

自分達を元気してくれる、幸せしてくれるエネルギー、パワーを気軽に求めていきます。求めていく自分の心を放置して、貪欲に求めていってしまうのです。しかし、貪欲という意識はありません。

みんなが元気になって、幸せになっていけばいいし、みんなを元気にしてあげたらいいし、幸せにしてあげたらいいということなのでしょう。

それはそれで何も悪いことでもなければ、間違ったことでもないと思っています。そこには、何の違和感もないでしょう。

形を中心とした物の見方、考え方からは、そうでしょう。

自分の外に、エネルギーやパワーを求めていく思いが、逆に、どんなエネルギーを自分から発していくかということなど、全く無頓着です。

自分の中にエネルギーやパワーを感じるもの、よもや、それが自分自身だとは思いもよらないでしょう。なぜならば、自分は肉、形だと思っているからです。みんな自分の姿を知らずにいるのです。

自分から流れ出すエネルギーがどんなものなのか、そして、そ

れがどういう結果を引き起こしていくかなど、全く論外にして、みんなが元気になればいい、みんなが幸せになればいいとやっているんです。

自分達の本当の姿を知らずに、分からずに、元氣で明るく幸せな世の中になるはずはありません。

肉を基盤とした世の中の流れの中にすっぽりと収まってしまって、それが分からなくなってしまったのです。

だから、「ここには、すごいエネルギーが流れている」「すごいパワーを感じる」「波動を送っています」「気が集まるところ」と言われば、欲の思いがどんどん膨れ上がっていきます。

元気になるためには、幸せになるためにはと、どんどんお金でも何でも注ぎ込んでいくのです。

それで元気になり、悩み事が解消されて、幸せになるんだったらしいけれど、結果は、毎度報道されている通りです。

基盤を変えない限り、こういったことは繰り返し起こってきます。

それが肉を基盤とした世の中の流れです。

さて、この辺で、基盤の話から、再度、「田池留吉の世界」のほうへ話を戻します。

田池留吉氏は、言いました。

「私の言うことをただ闇雲に信じるのではなくて、あなたの心で分かったことを信じていきなさい。私が伝えていることが本当のことなのかどうなのかは、あなたの心で分かってきます。

では、あなたの心で分かるとはどういうことなのか。あなたの心を見ていいべきいいんです。お母さんの反省をしていいべきいいんです。他力信仰の反省をしていいべきいいんです。そのように、私がしてくださいと言ったことを素直に実行して、それでも私は幸せが分かりません。喜びが分かりません。未だに苦しんでいます。という人があったなら、皆さん前で、私は証明します。あなたは私がしてくださいと言ったことを素直に実行していないことを。

私は私が言ったことを素直にしていただければ、誰もが幸せになる道をお伝えしているんです。私はそんないい加減なことは申しません。私には自信があるんです。だから、私の言った通りのことをして幸せになれなかつたなら、私の頭を鉄パイプで殴っていいですよとまで言っているんです。」

今、私は、田池留吉氏がよく言っていたこのようなことを、ふと思い出しました。

過去、何度も聞いてきたけれど、鉄パイプで殴って帰れとまで言った田池留吉氏の思いは、すごかったということが、当時の私にはまだよく分かっていなかつた感じです。

田池留吉氏が伝えてくれた真実の波動の世界、「田池留吉の世界」を心で感じていけばいくほどに、そう言い切ってくれたことを学ばせていただきてきたこと、本当にそうだ、その通りだと自分の心が頷く体験を何度もしてきたことに感謝しかありません。

だから、私は、こうしてはっきりと語れるんです。

どんなに世の中のすべてのものが、肉、形を中心にして回り動いていても、そして、あちらからも、こちらからも、こここそが真実の世界ですよという声が上がっても、それらはみんな違って

いることがはっきりと分かります。

真実の世界は、肉、形の世界にもなければ、こここそが真実だ、本物だと主張している団体、組織等にもありません。

唯我独尊的な考え方だと反発されようとも、「田池留吉の世界」だけが真実を語るんです。「田池留吉の世界」を知らないということは、どんなにこの世的に評価された人物でさえ、真っ暗闇の中に埋没しています。

そして、それは、自分が死ねば分かります。誇ってきた頭もこの世的なものは何もかもすべてなくなり、ただまっ暗闇の重苦しいエネルギーが自分を覆い尽くしていく結果となっていくだけなんです。

ただし、このことは、今、どなたにでも分かるということではありません。

しかし、どなたも心を見て、瞑想を重ねていけば、こういうことは段々と自分の心で感じていけることなんです。

なぜならば、私達はエネルギーとして存在し、そのエネルギーが、過去、何度も、何度も、肉という形を持ってきたからです。

私達の頭には記憶がなくても、私達の心、私達の意識の世界には、その記憶が残されているのです。

それを、心を見る作業を通して知っていきなさいと、田池留吉氏は伝えてくれたのでした。

(2011年9月16日掲載分まで)

<http://www13.ocn.ne.jp/~utamate/>

意識の流れ あなたに語り掛けましょう 第2巻

2012年1月30日 第1版第1刷発行

編集 / 発行 U T A会

印刷 / 製本 モリモト印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

© 2012 Printed in Japan